

平成 27 年度
重要生態系監視地域モニタリング推進事業
(モニタリングサイト 1000)ガンカモ類調査業務
2014/15 年 調査報告書
【概要版】

平成 27(2015)年 9 月
環境省自然環境局 生物多様性センター

要 約

本調査は、ガンカモ類の長期的なモニタリングを通して収集した個体数などの基礎情報を分析してガンカモ類の種や数の減少やその生息地（主に湖沼）の劣化の兆候を早期に把握し、その知見を生物多様性の保全対策立案に役立てることを目的としている。調査は、全国に設定された 80 サイトのうち、79 サイトで実施され、秋期（9～11月）、冬期（12～1月）、春期（2～5月）にそれぞれのサイトで1回以上の調査が行われている。

飛来個体数が多かったサイト上位5つは、八郎潟（244,710羽）、琵琶湖（141,234羽）、伊豆沼・内沼（100,429羽）、小友沼（90,125羽）、蕪栗沼（77,526）であった。なお括弧内は1回のカウントで記録された全種合計の最大値である。

主なレッドリスト種の最大個体数は、シジュウカラガン（絶滅危惧ⅠA類）が八郎潟で1,202羽記録された他、ハクガン（ⅠA類）が小友沼で129羽、カリガネ（ⅠB類）が邑知潟で5羽、コクガン（同Ⅱ類）が野付湾で3,351羽、亜種ヒシクイ（同Ⅱ類）が濤沸湖で1,709羽、トモエガモ（Ⅱ類）が斐伊川河口（宍道湖西部）他で3,000羽、マガン（準絶滅危惧）が八郎潟で235,000羽、亜種オオヒシクイ（準絶滅危惧）がペンケ沼で5,542羽記録された。ハクガンとシジュウカラガンの個体数は、2004/05年の調査開始以来増加傾向にあり、2014/15年調査の記録個体数の最大値は、これまでの調査で最も大きかった。

Abstract

Monitoring sites 1000 Anatidae survey is a long term monitoring program which aims to understand decrease of species richness, abundance of Anatidae species, and degradation of their habitats (most survey sites are lakes) at an early stage. Then, the knowledge used to prepare plans to conserve biodiversity.

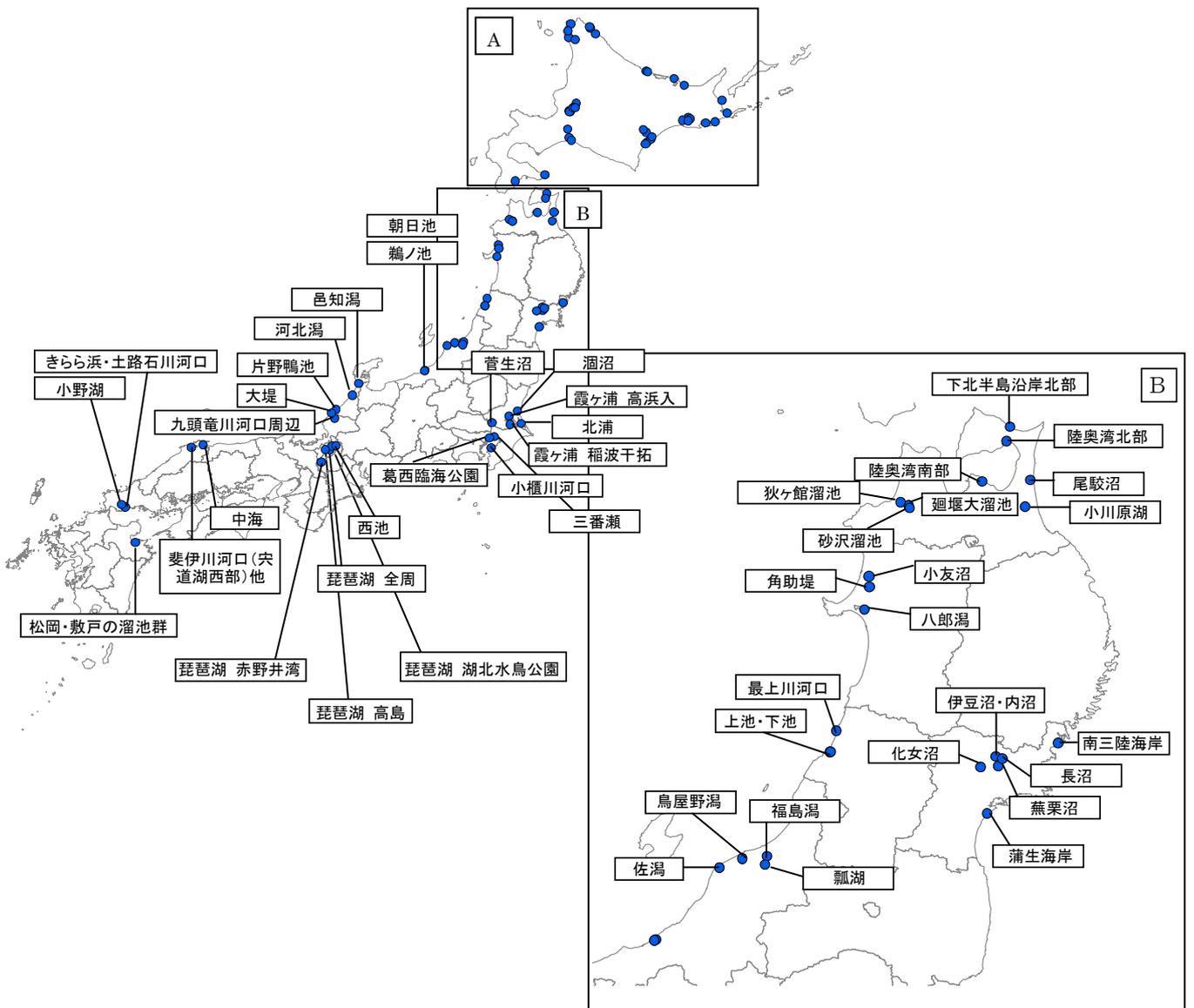
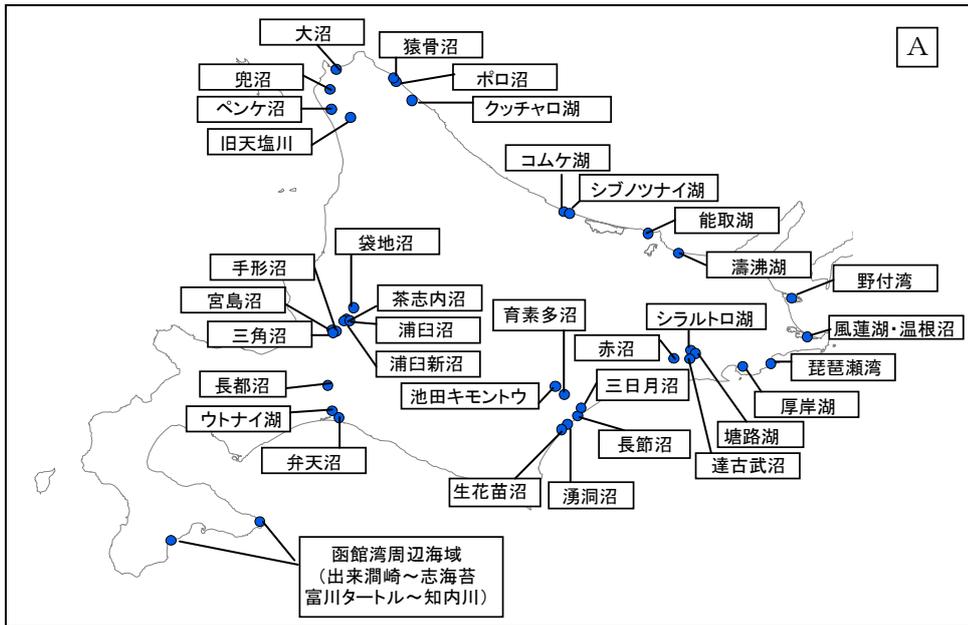
The survey is conducted at 79 sites of 80 sites established nationwide in autumn (September - November), winter (December - January), and spring (February - May). In each season, survey is done once or more times.

The top five sites having the largest number of Anatidae was Hachiro-gata (244,710), Biwa-ko(141,234), Izu-numa and Uchi-numa (100,429), Otomo-numa(90,125), and Kabukuri-numa (77,526). The numbers in the parentheses are the highest numbers of the total species recorded at the sites.

The highest number recorded for the Red List species are 1,202 Cackling Canada Geese (CR) in Hachiro-gata, 129 Snow Geese (CR) in Otomo-numa, 5 Lesser White-fronted Geese (EN) in Ouchi-gata, 3,351 Brent Geese (VU) in Notsuke-wan, 1,709 Bean Geese *A. f. serrirostris* (VU) in Tofutsu-ko, 3,000 Baikal Teal (VU) in Hiigawa-kako, 235,000 Greater White-fronted Geese (NT) in Hachiro-gata, 5,542 Bean Geese *A. f. middendorffii* (NT) in Penke-numa.

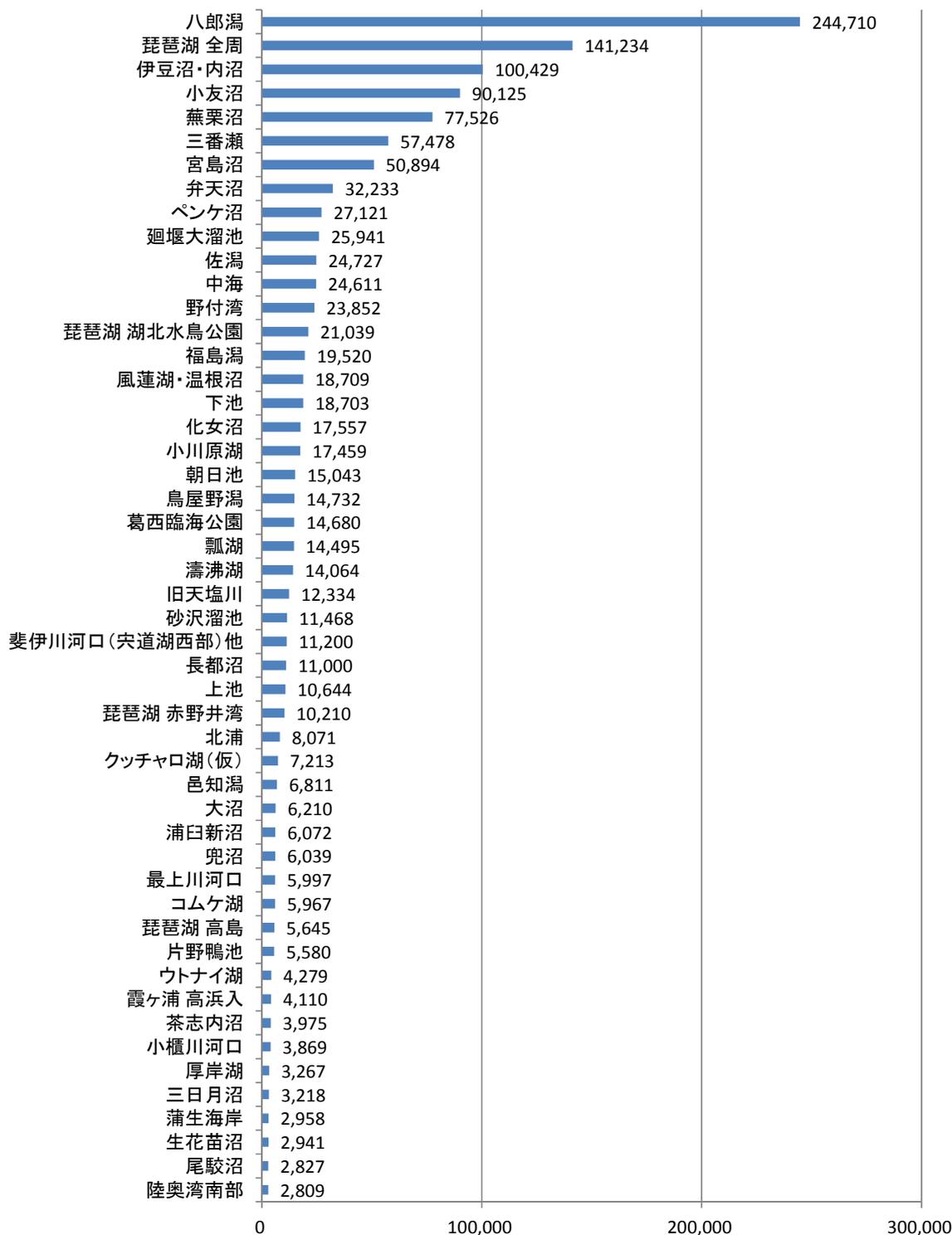
The numbers of Snow Goose and Cackling Canada Geese have been increasing since the survey initiated in 2004/05, and their numbers were the highest in 2014/15.

調査サイトの配置



ガンカモ類全種合計の最大値

調査対象になっているガンカモ類全種を合計した最大個体数の上位 50 サイトをグラフに示す。(図 3-1)。この個体数は 1 回の調査でカウントされたガンカモ類の総数の調査期間内最大値であり、ラムサール条約の登録基準 6 「定期的に 2 万羽以上の水鳥を支える湿地」の照合に用いることができる数値である。



1 回のカウント調査でのガンカモ類全種合計値が大きい上位 50 サイト

ガンカモ類の個体数分布地図

主要なガンカモ類について、秋期（9～11月）、冬期（12～1月）、春期（2～5月）ごとに、各サイトの最大個体数をマッピングした。琵琶湖では、3つの季節を比較するため、冬期にだけ実施されている全周調査の記録は使用せずに、各季節に調査がされている赤野井湾、湖北水鳥公園、高島の3カ所の記録を使用した。

オオハクチョウ

秋期 (9~11月)

冬期 (12~1月)

春期 (2~5月)

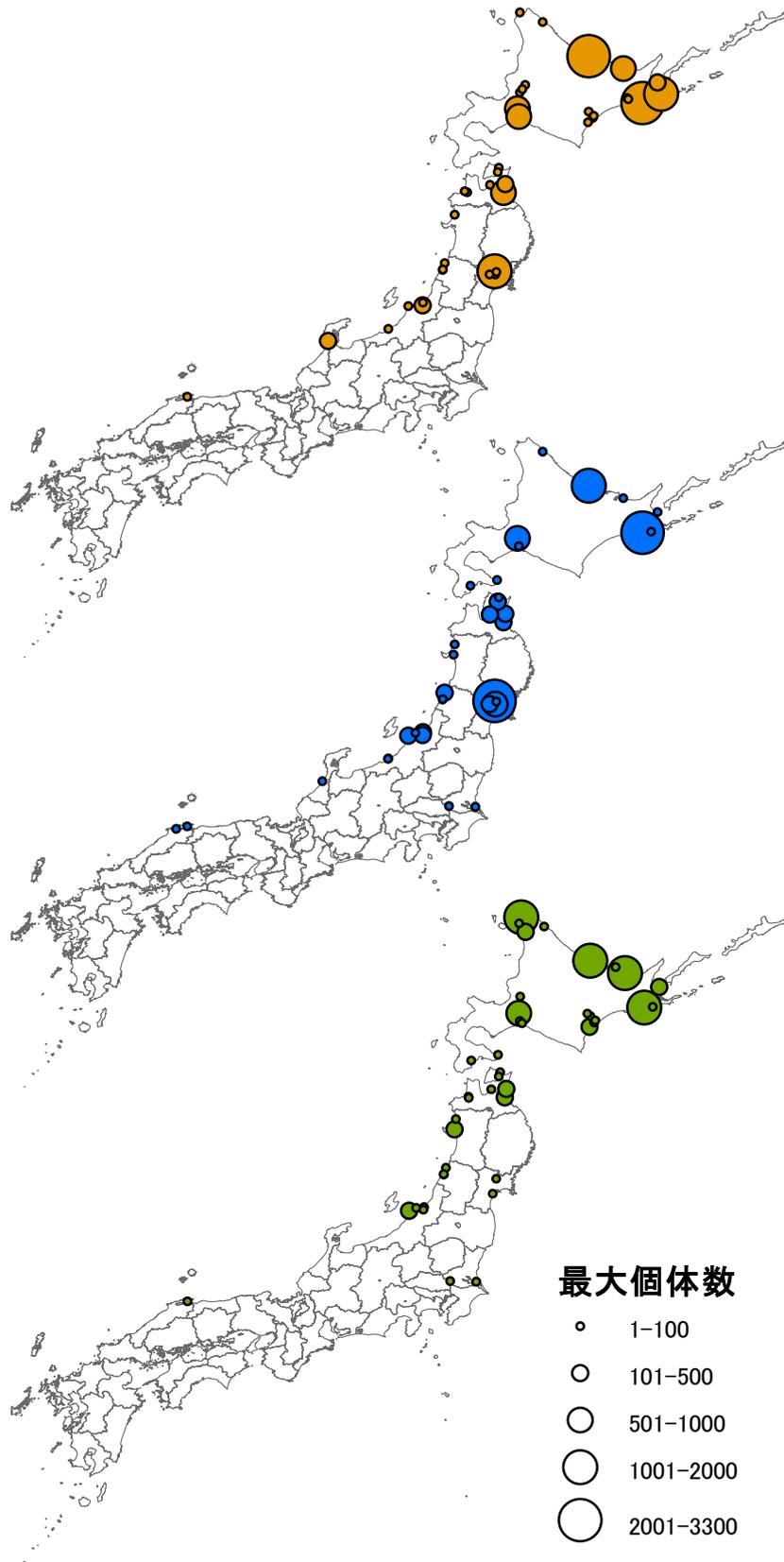


図 5-1 オオハクチョウの個体数分布

秋に北海道東部のサイトに飛来し、北海道から東北にかけて、主に太平洋側で越冬する。

コハクチョウ

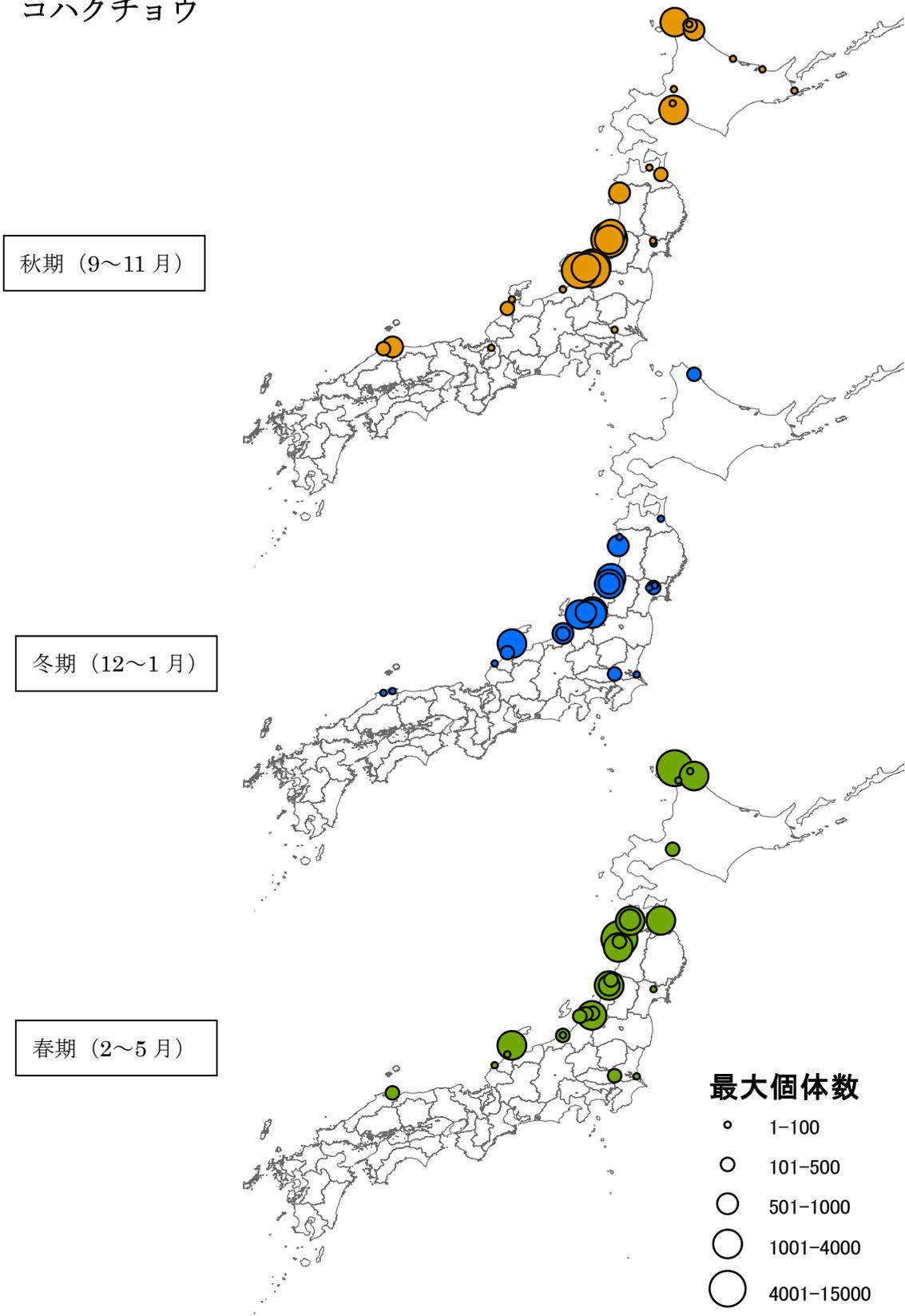


図 5-2 コハクチョウの個体数分布

秋に北海道北部のサイトに飛来する。冬期は主に本州日本海側のサイトで越冬し、太平洋側のサイトでも少数越冬している。北海道で越冬することは少ないが、クッチャロ湖では給餌が行われているので少数が越冬している。

コクガン

秋期 (9~11月)

冬期 (12~1月)

春期 (2~5月)

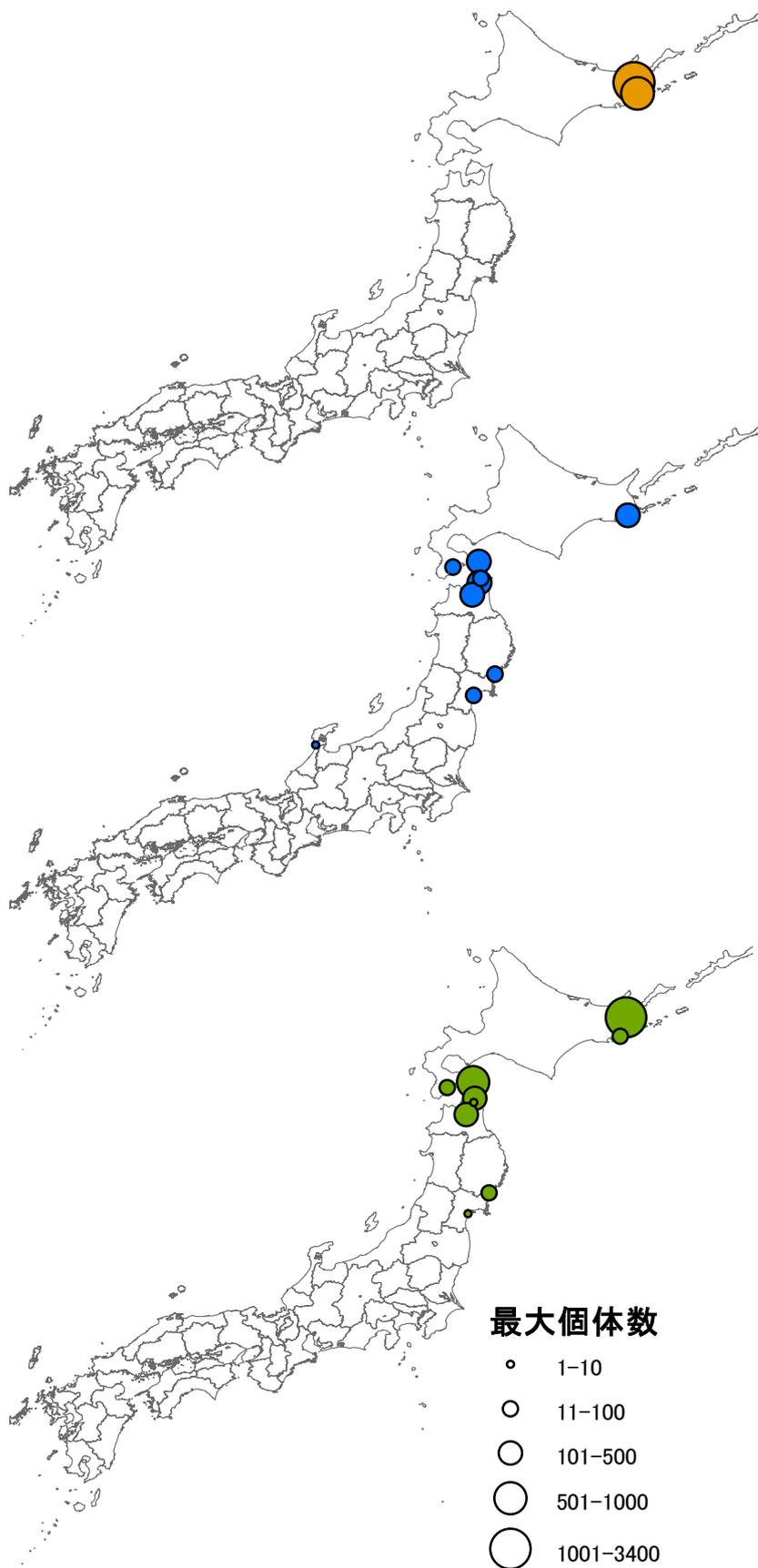


図 5-3 コクガンの個体数分布

秋と春の渡り時期に北海道東部で多く記録される。冬期は北海道東部太平洋側の琵琶瀬湾と、函館から青森にかけての海域や、三陸海岸で越冬している。

マガン

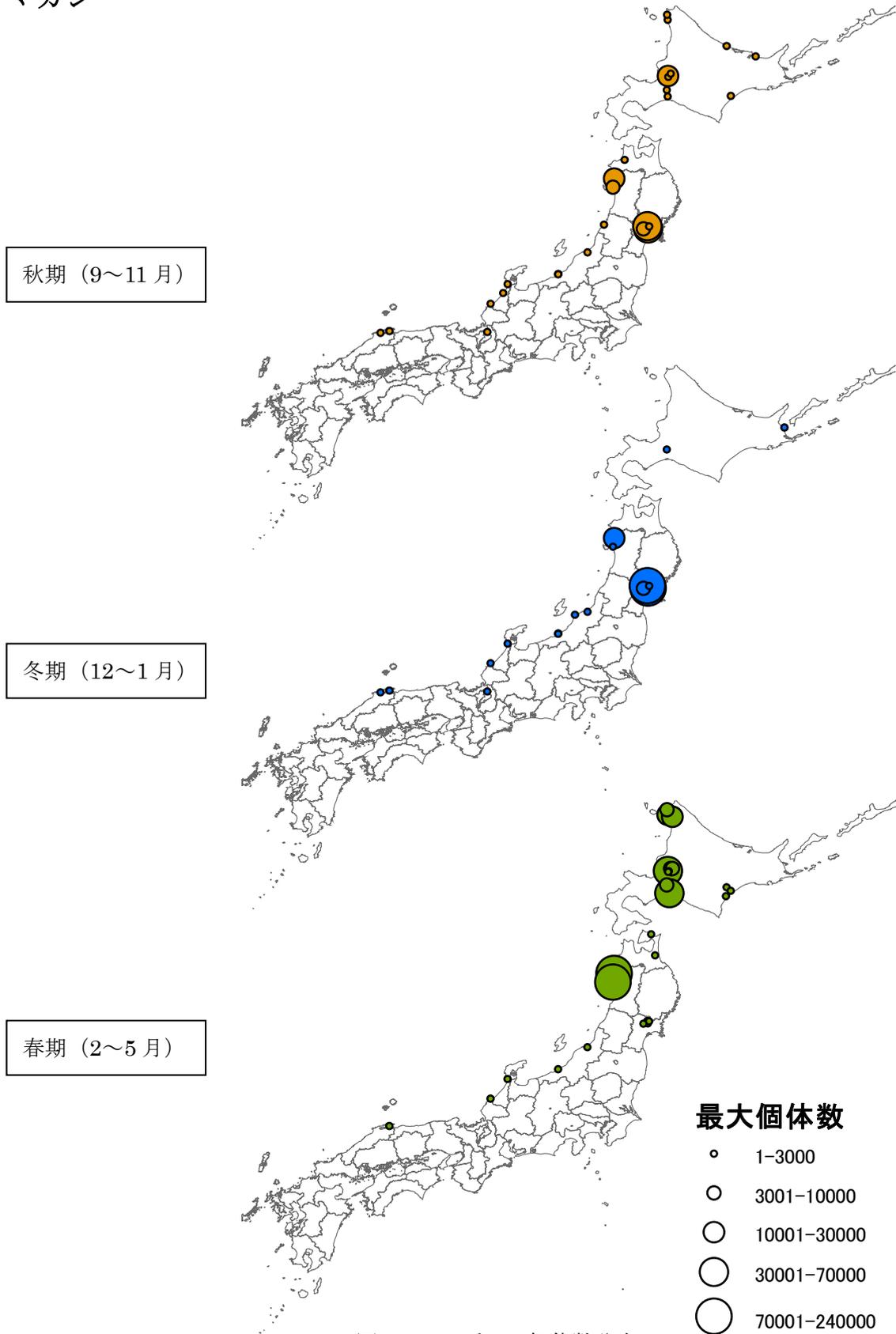


図 5-4 マガンの個体数分布

宮城県に越冬地があり、北海道の宮島沼は秋と春、八郎潟とサロベツ原野は主に春に利用される中継地になっている。

ヒシクイ

薄い色の円は亜種を識別せずに種ヒシクイとして報告された記録

中間色の円は亜種オオヒシクイ

濃い色の円は亜種ヒシクイ

秋期 (9~11月)

冬期 (12~1月)

春期 (2~5月)

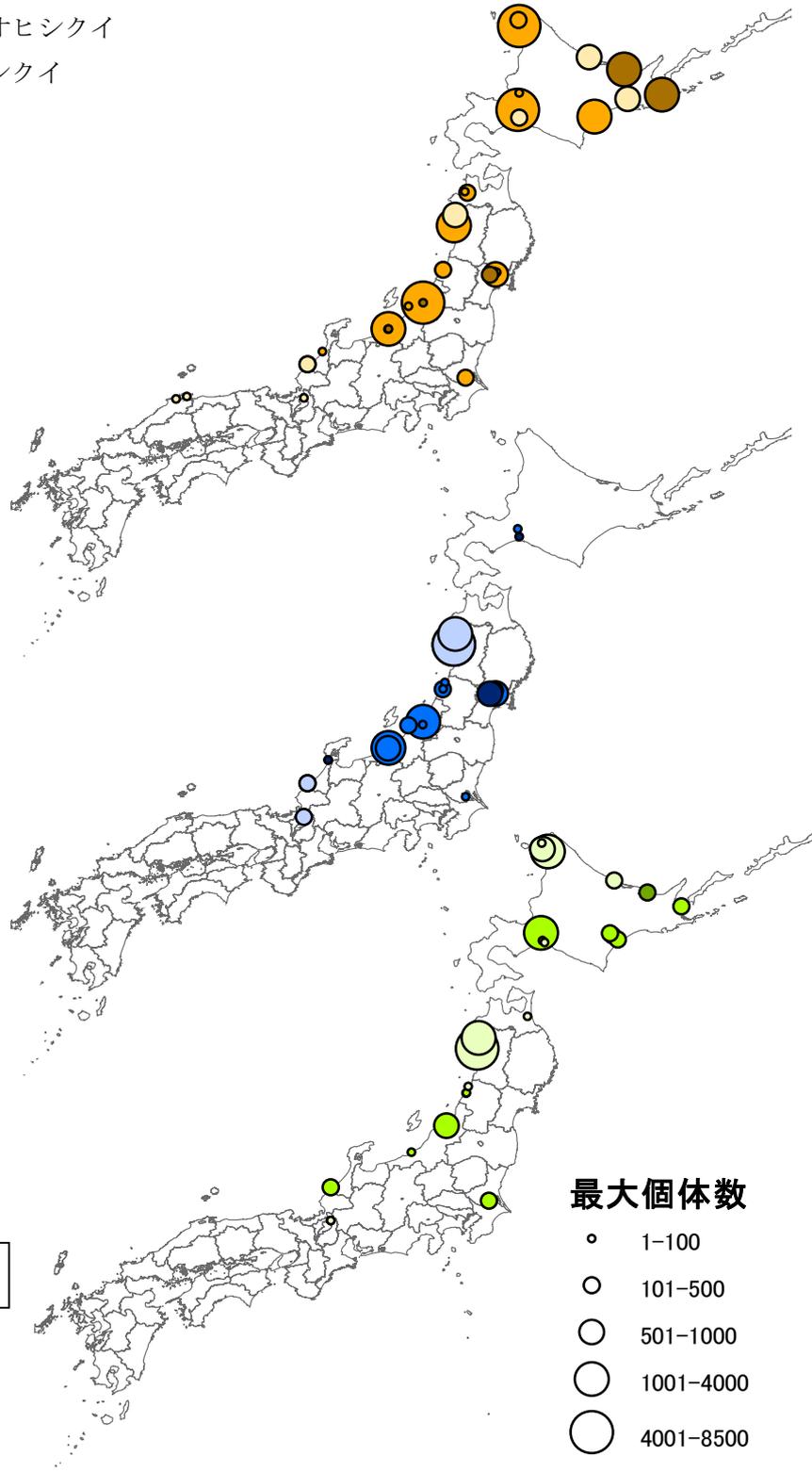


図 5-5 ヒシクイの個体数分布

亜種ヒシクイは、渡り時期に北海道東部、越冬期は宮城県の化女沼で多く記録されている。亜種オオヒシクイは渡り時期に北海道北部と中央部を利用し、日本海側で越冬している。春期に秋田や北海道北部で記録されているヒシクイは、ほとんどが亜種オオヒシクイと考えられる。

ハクガン

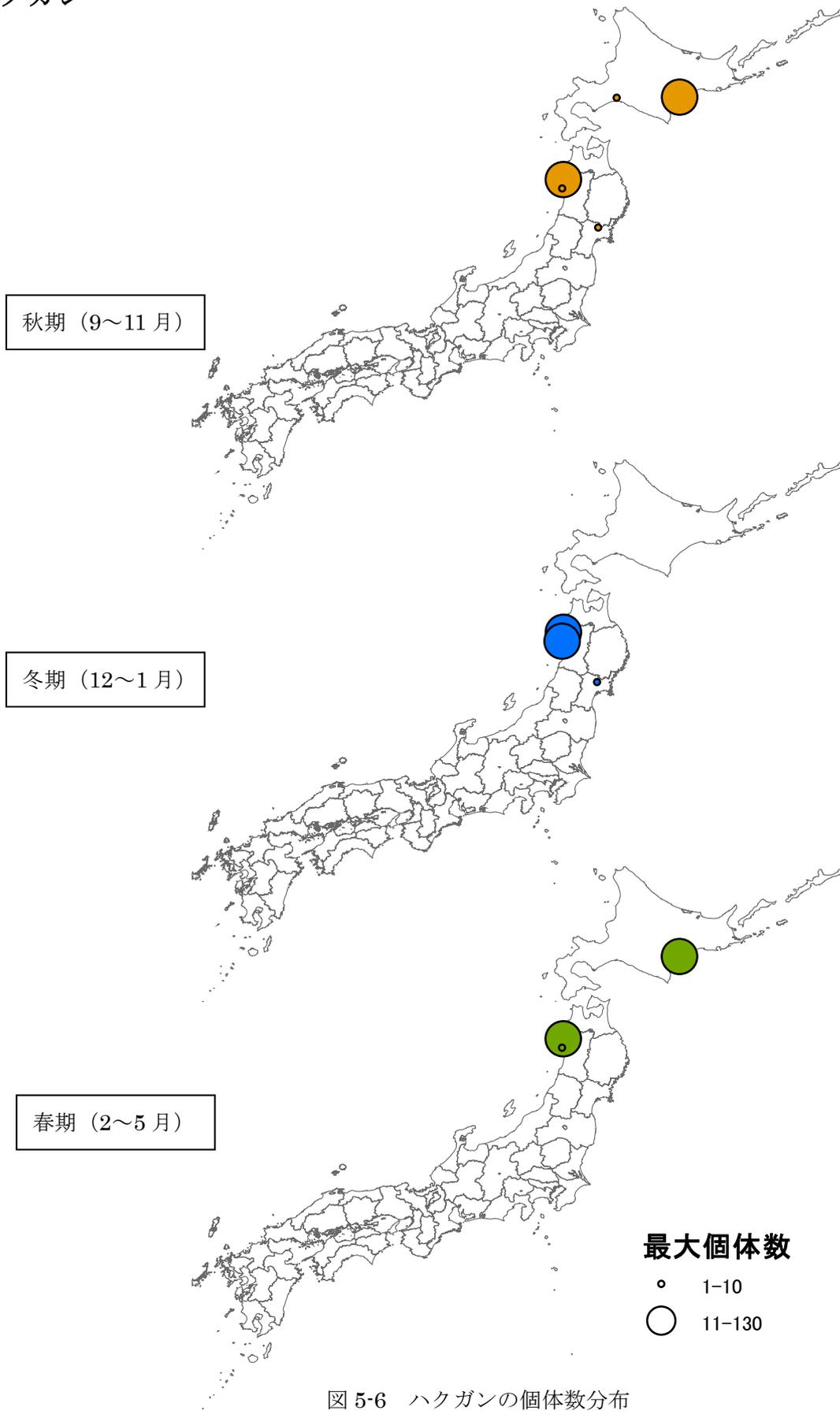


図 5-6 ハクガンの個体数分布

ハクガンは、秋期に北海道の三日月沼で多く記録され、越冬期は秋田県の八郎潟と小友沼で多く記録されている。春期には三日月沼で再び多く記録されている。

シジュウカラガン

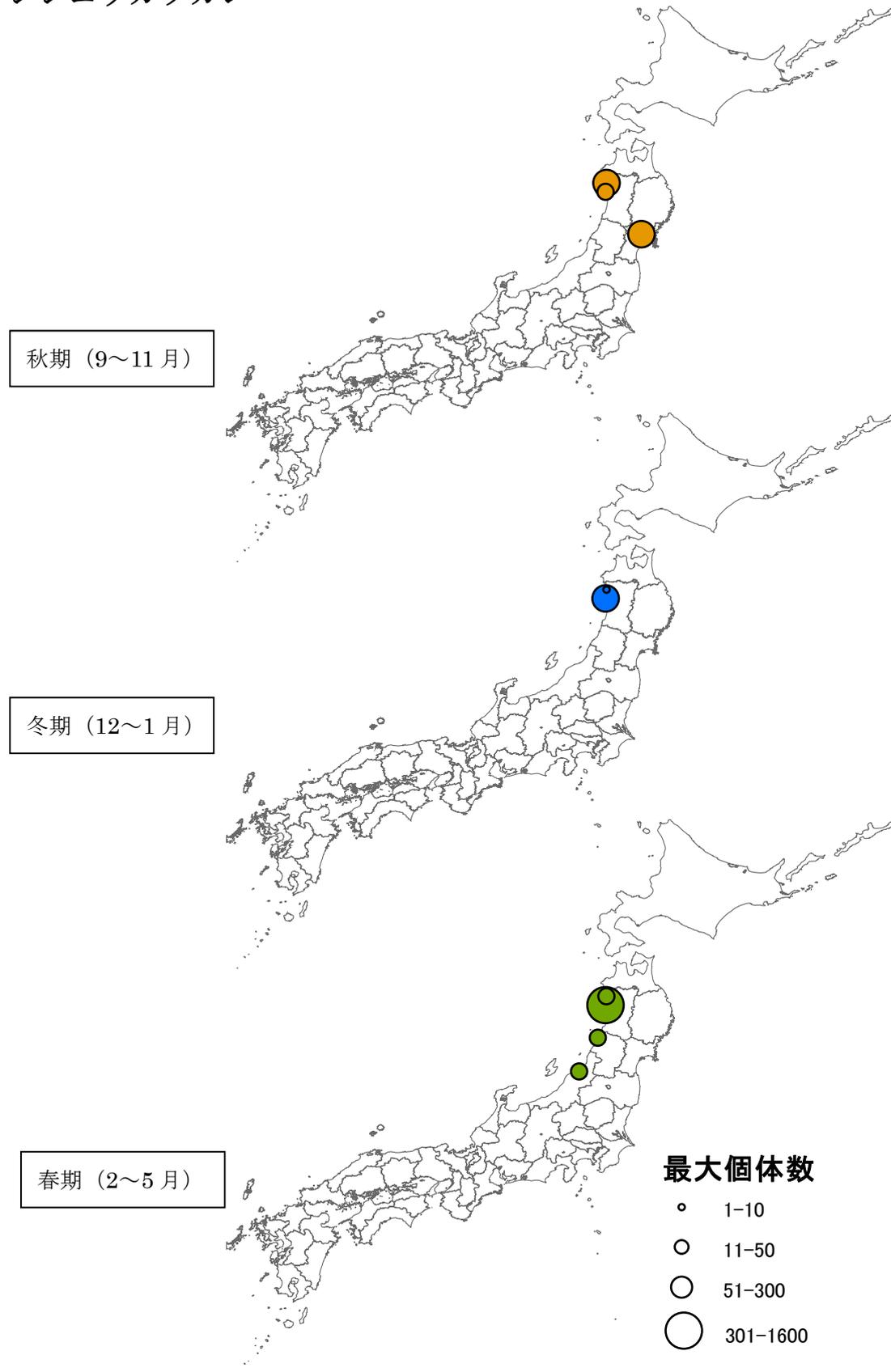


図 5-7 シジュウカラガンの個体数分布

秋田から新潟にかけてのサイトと、宮城のサイトで記録されている。調査では記録されなかったが、渡り時期はハクガンと似た経路を移動し、渡り時期に北海道十勝地方を利用している。

マガモ

秋期 (9~11月)

冬期 (12~1月)

春期 (2~5月)

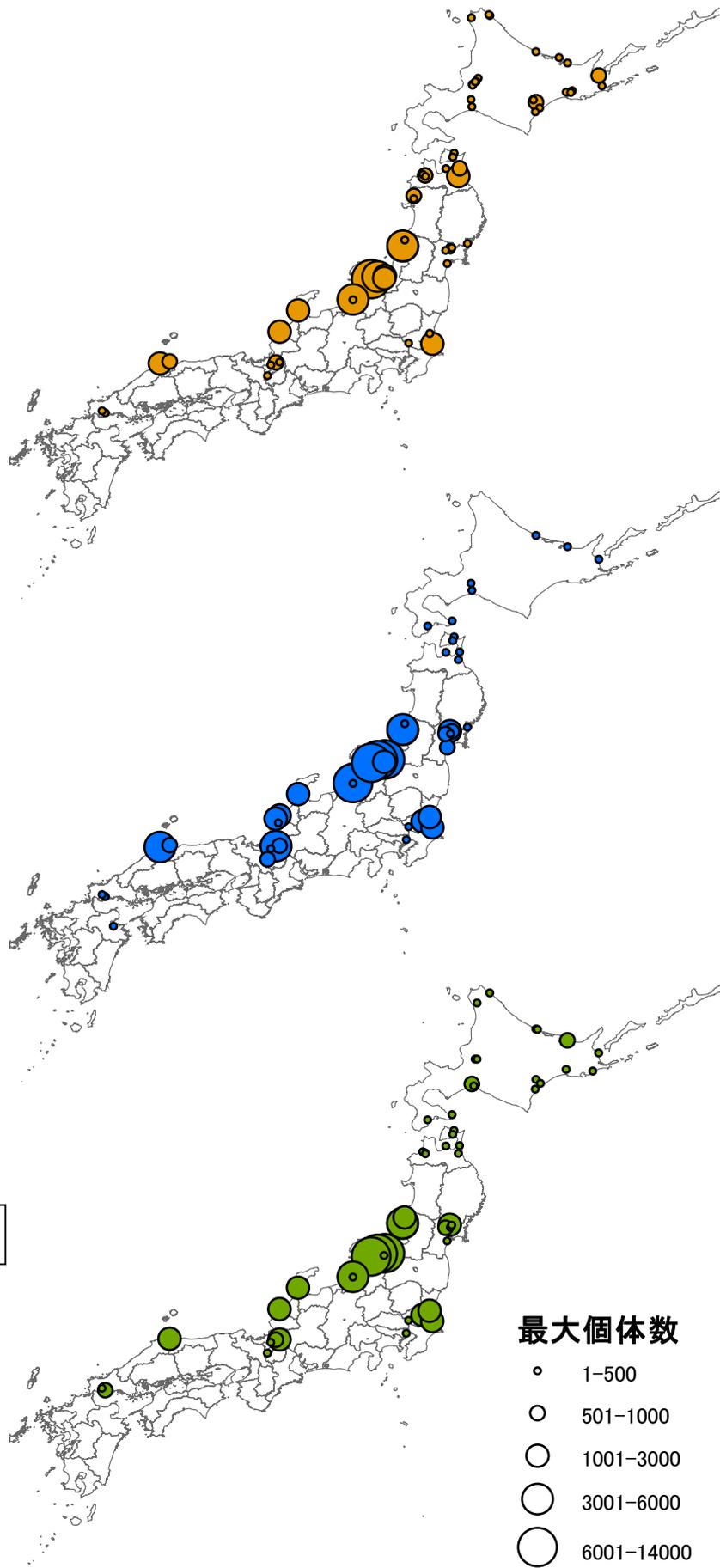


図 5-8 マガモの個体数分布

カルガモ

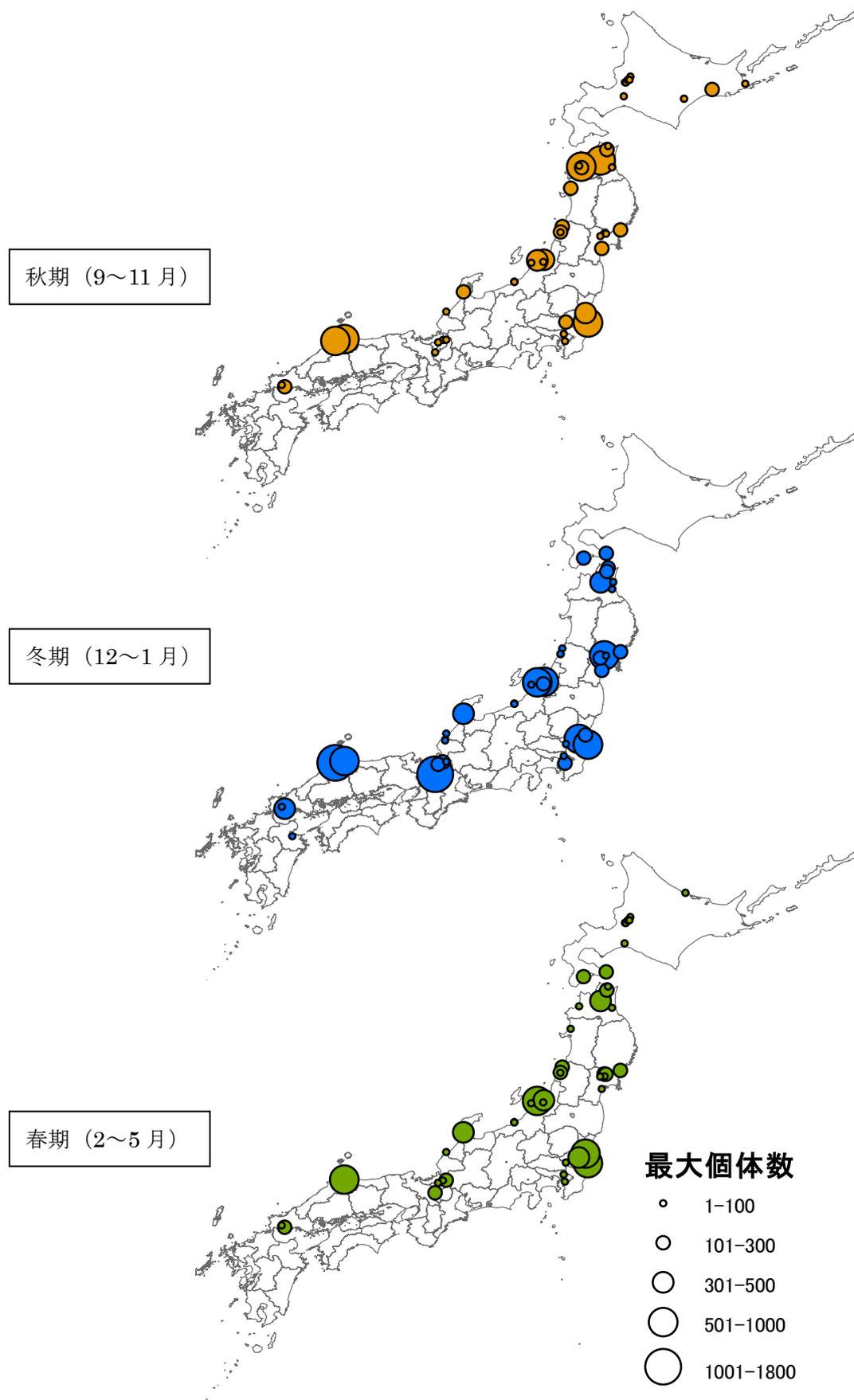


図 5-9 カルガモの個体数分布

コガモ

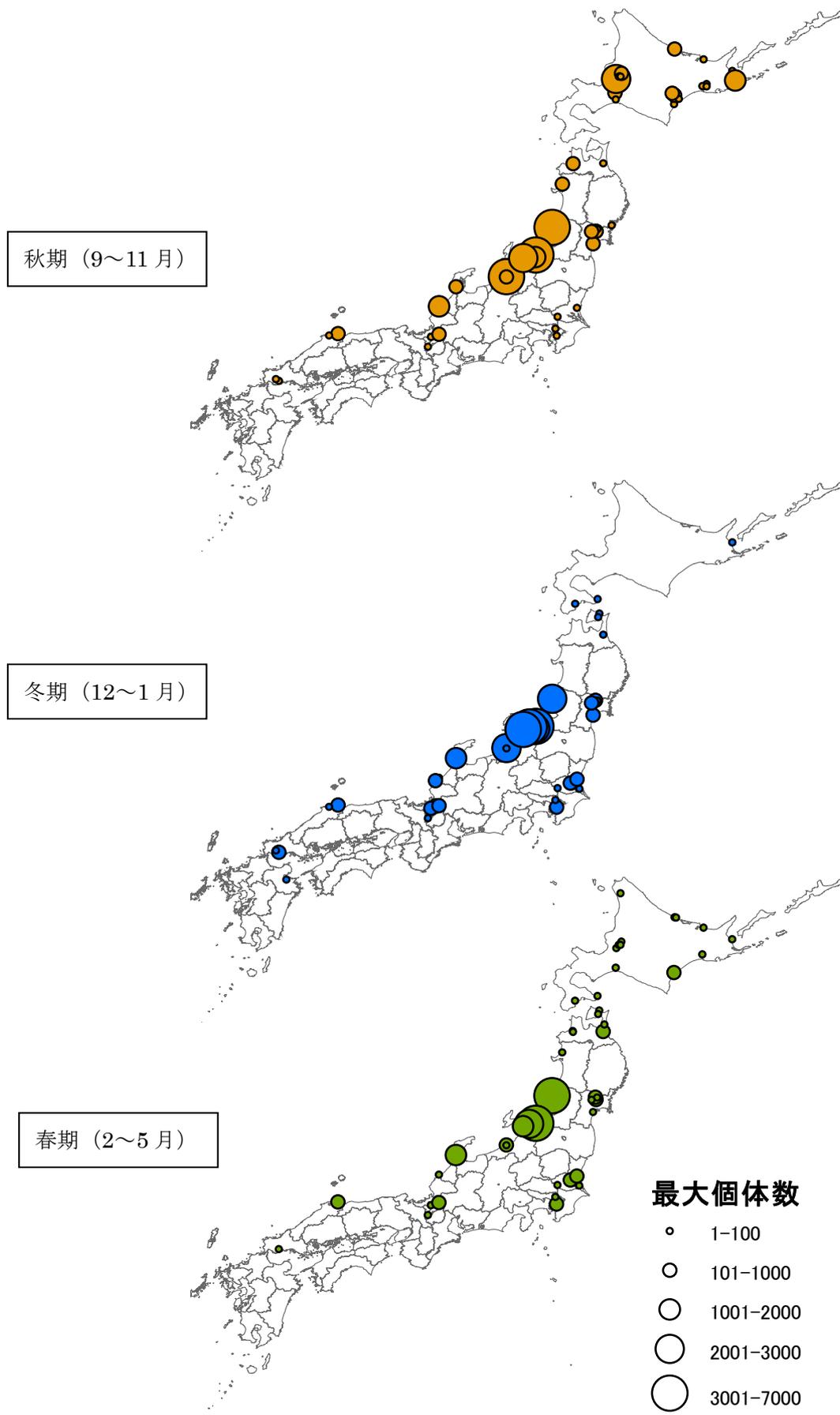


図 5-10 コガモの個体数分布

トモエガモ

秋期 (9~11月)

冬期 (12~1月)

春期 (2~5月)

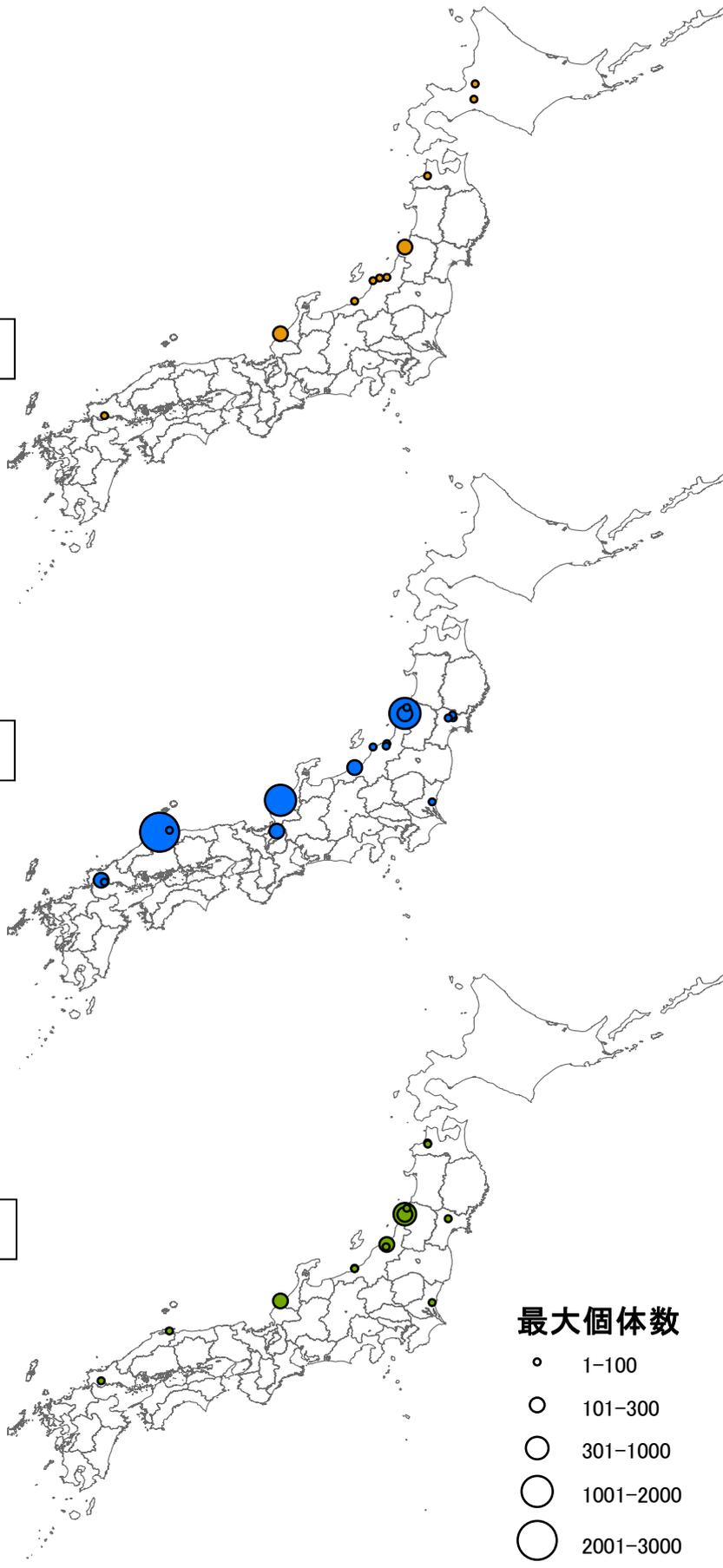


図 5-11 トモエガモの個体数分布

ヨシガモ

秋期 (9~11月)

冬期 (12~1月)

春期 (2~5月)

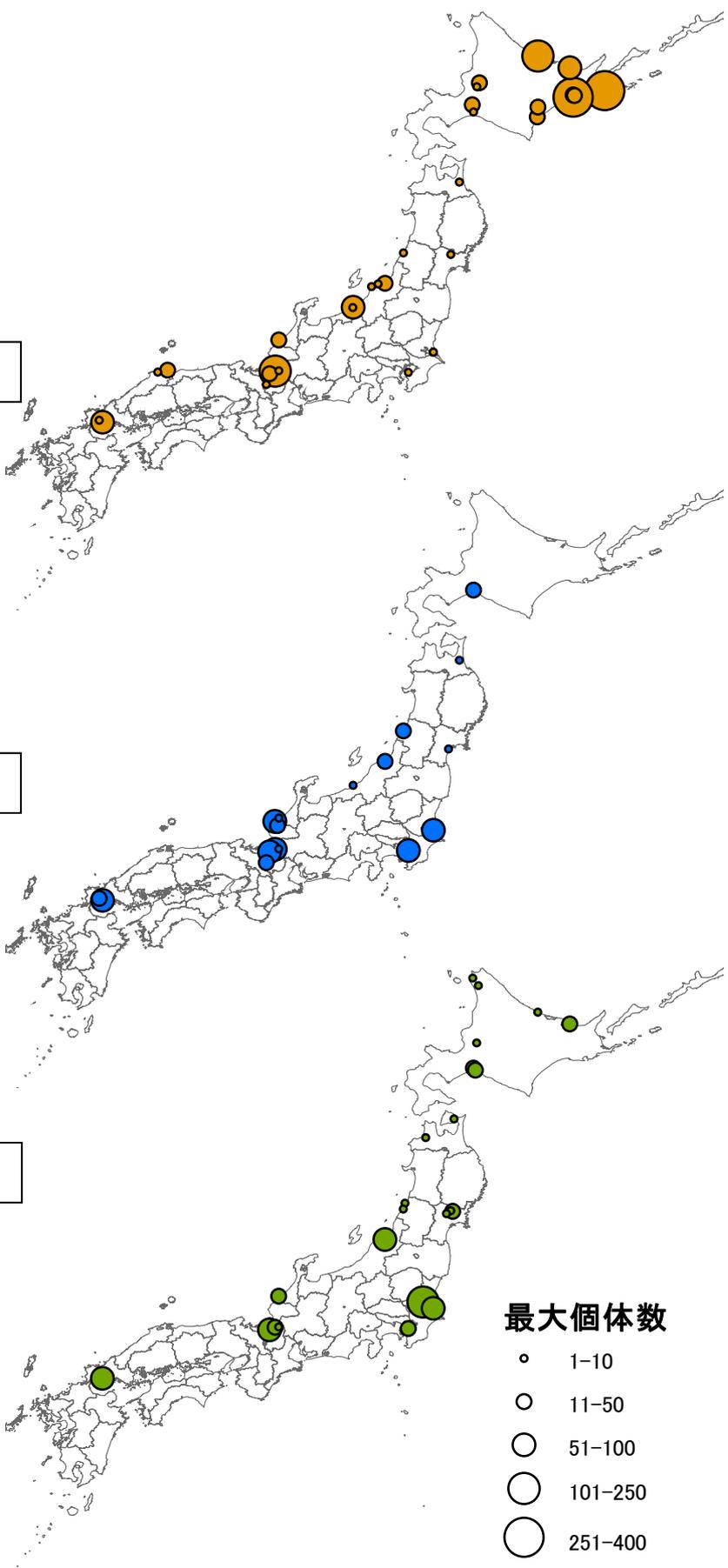


図 5-12 ヨシガモの個体数分布

オカヨシガモ

秋期 (9~11月)

冬期 (12~1月)

春期 (2~5月)

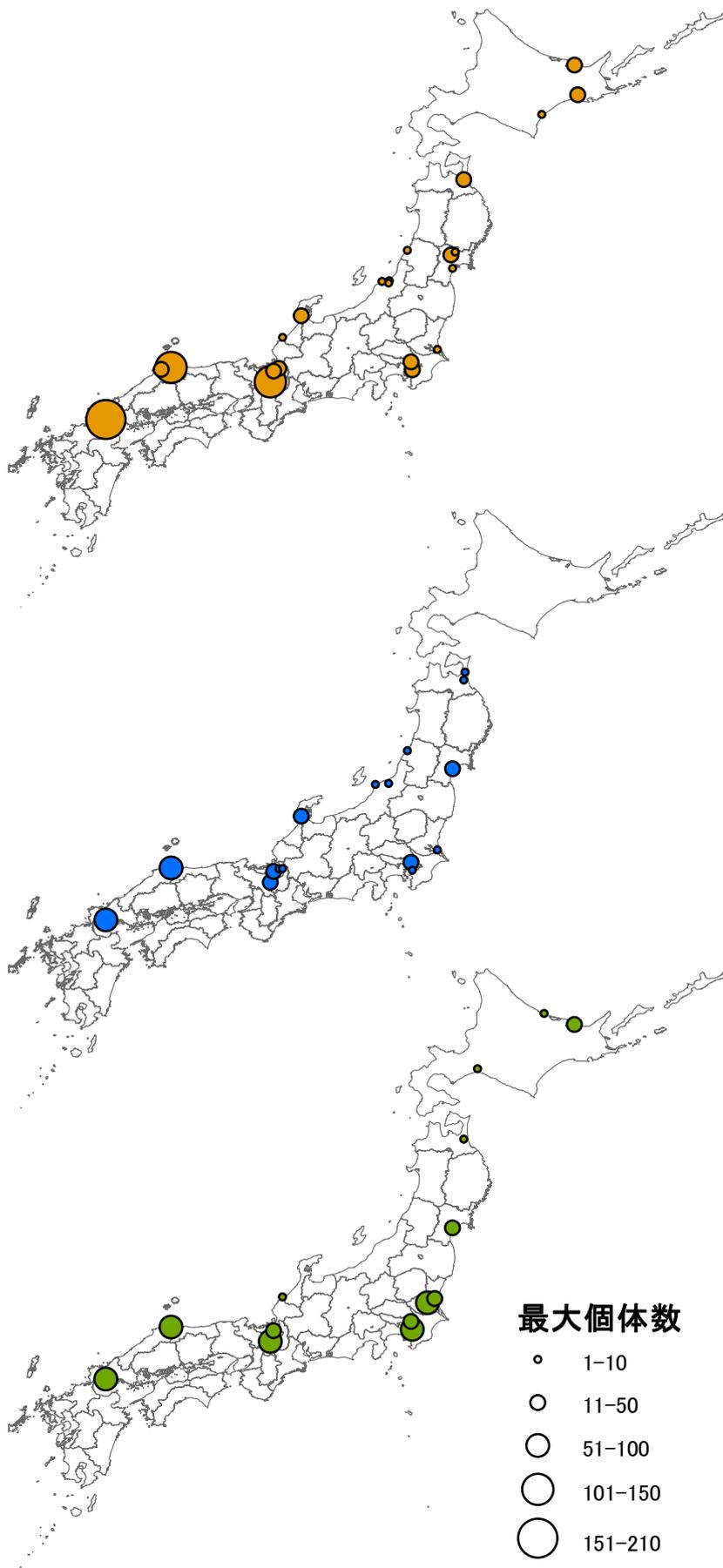


図 5-13 オカヨシガモの個体数分布

ヒドリガモ

秋期 (9~11月)

冬期 (12~1月)

春期 (2~5月)

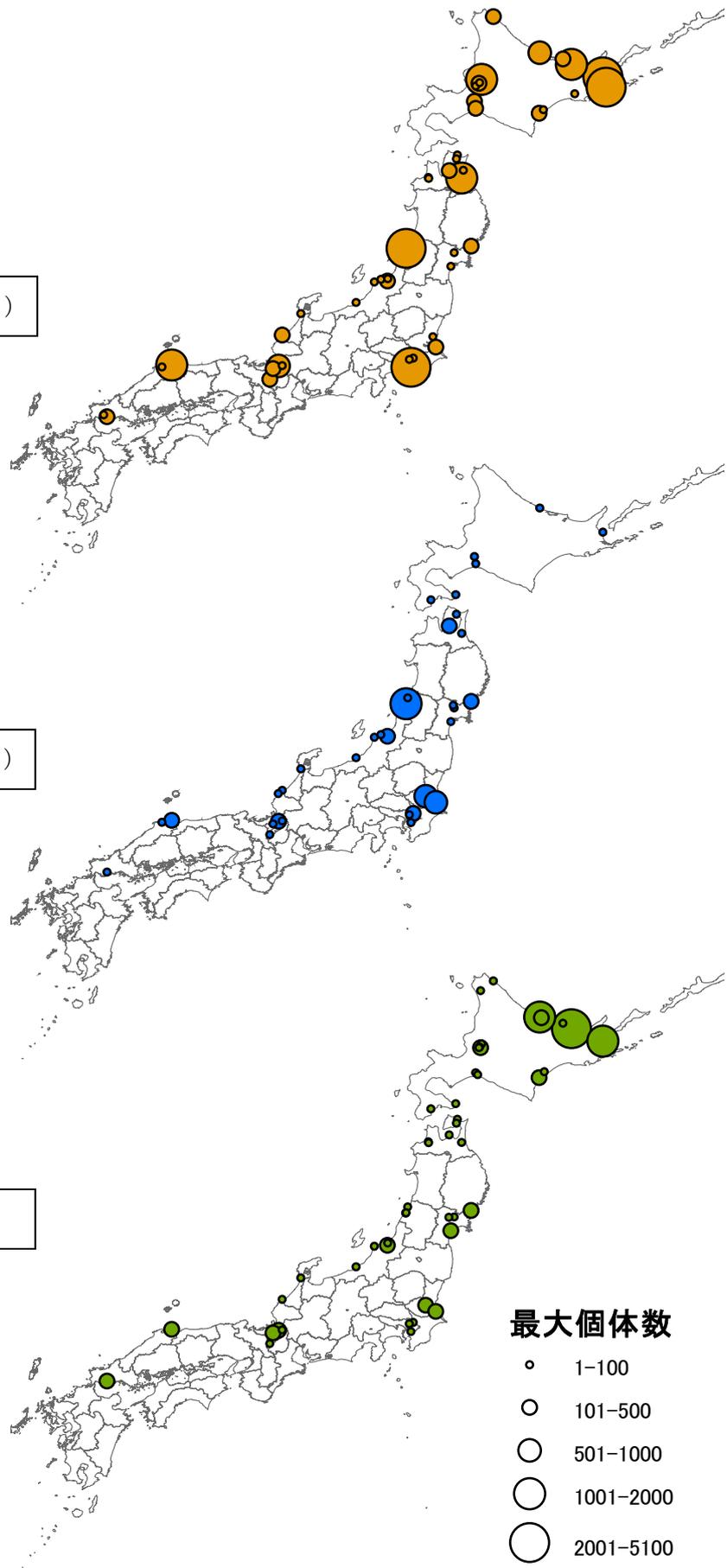


図 5-14 ヒドリガモの個体数分布

オナガガモ

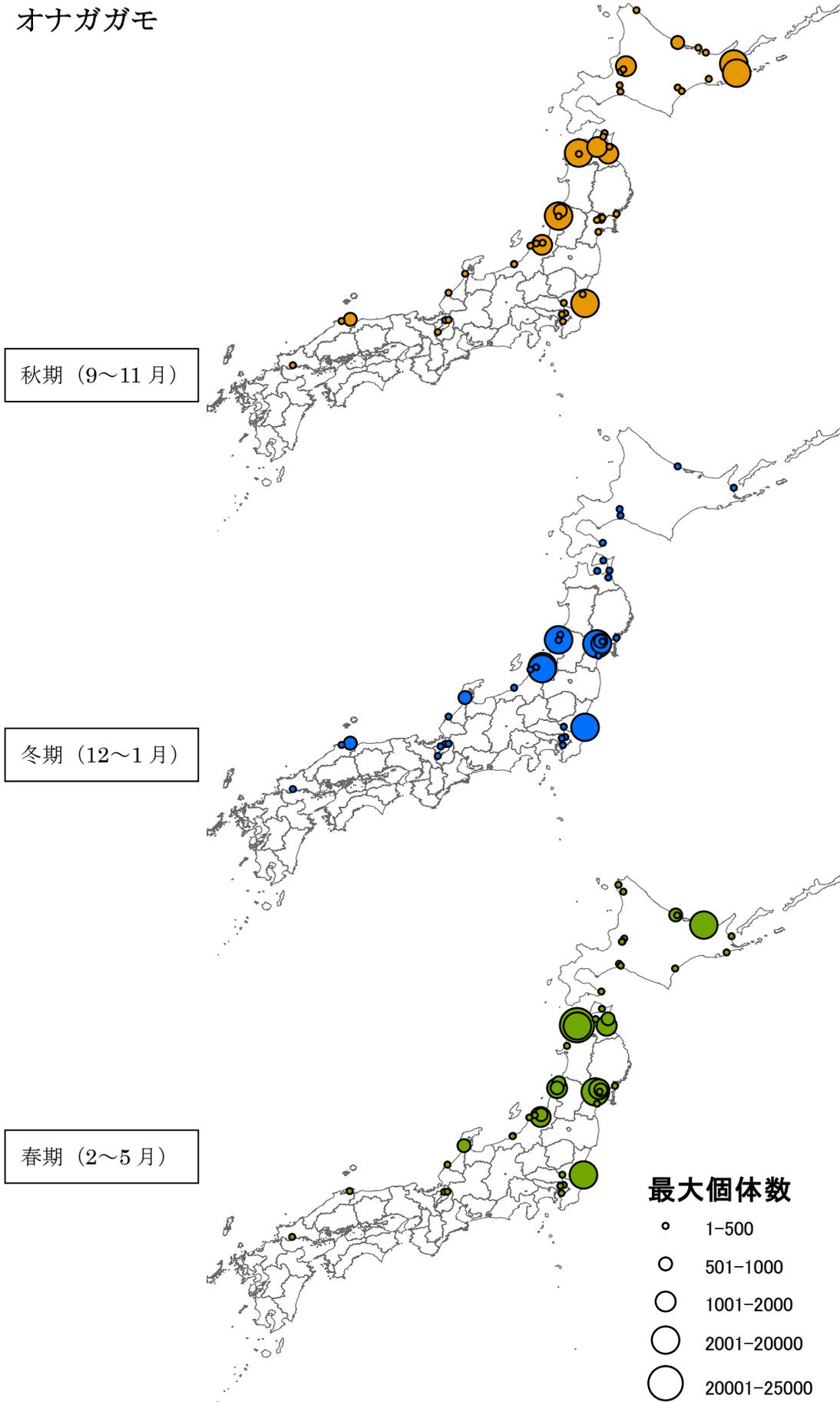


図 5-15 オナガガモの個体数分布

ハシビロガモ

秋期 (9~11月)

冬期 (12~1月)

春期 (2~5月)

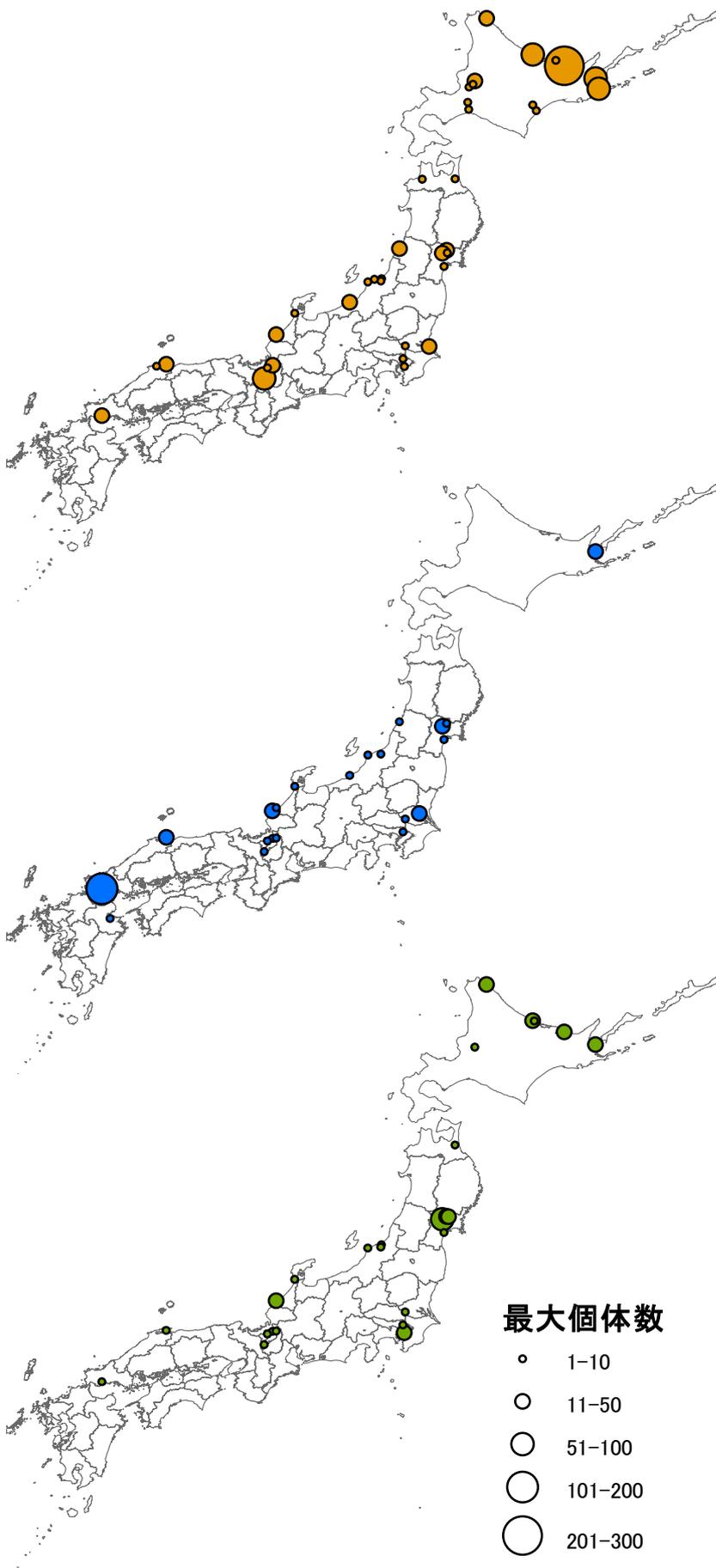


図 5-16 ハシビロガモの個体数分布

ホシハジロ

秋期 (9~11月)

冬期 (12~1月)

春期 (2~5月)

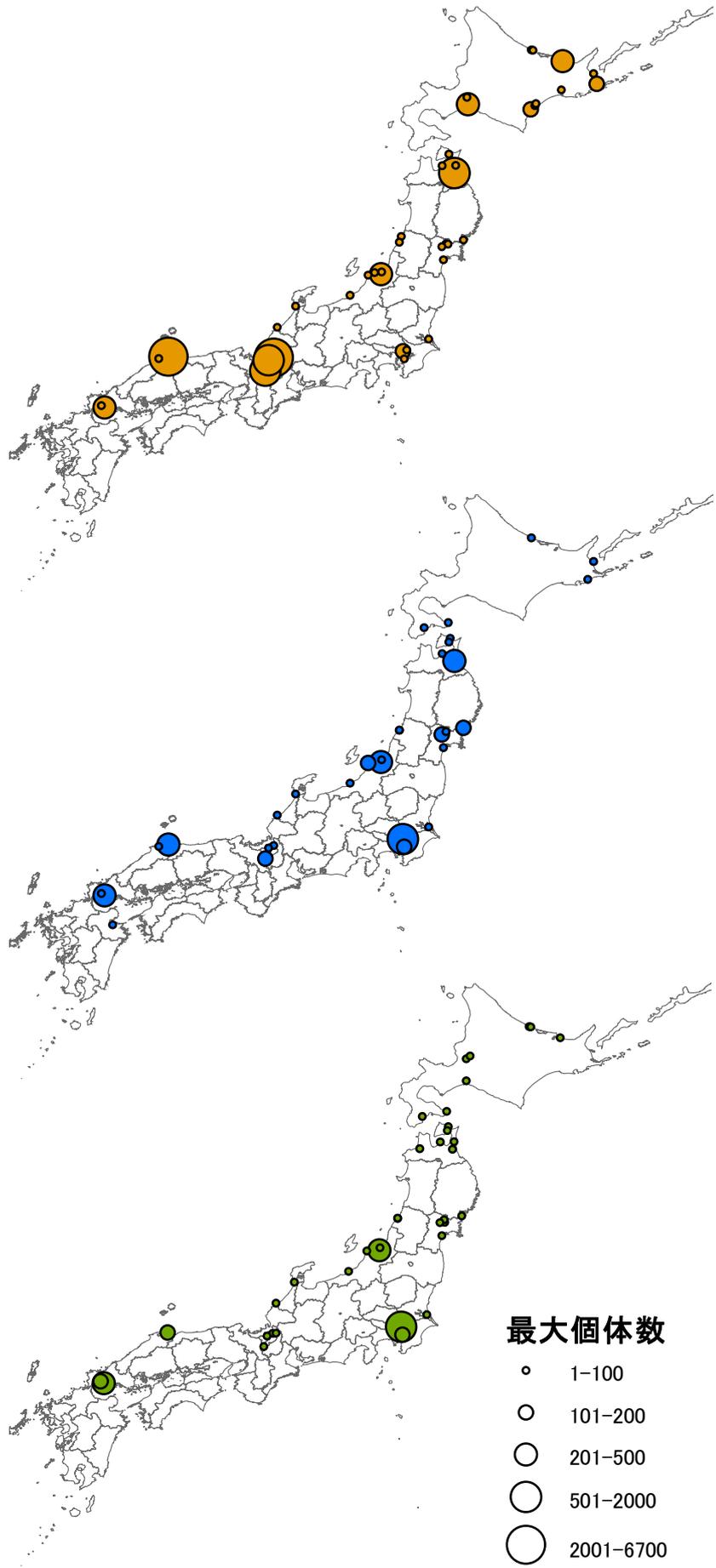


図 5-17 ホシハジロの個体数分布

キンクロハジロ

秋期 (9~11月)

冬期 (12~1月)

春期 (2~5月)

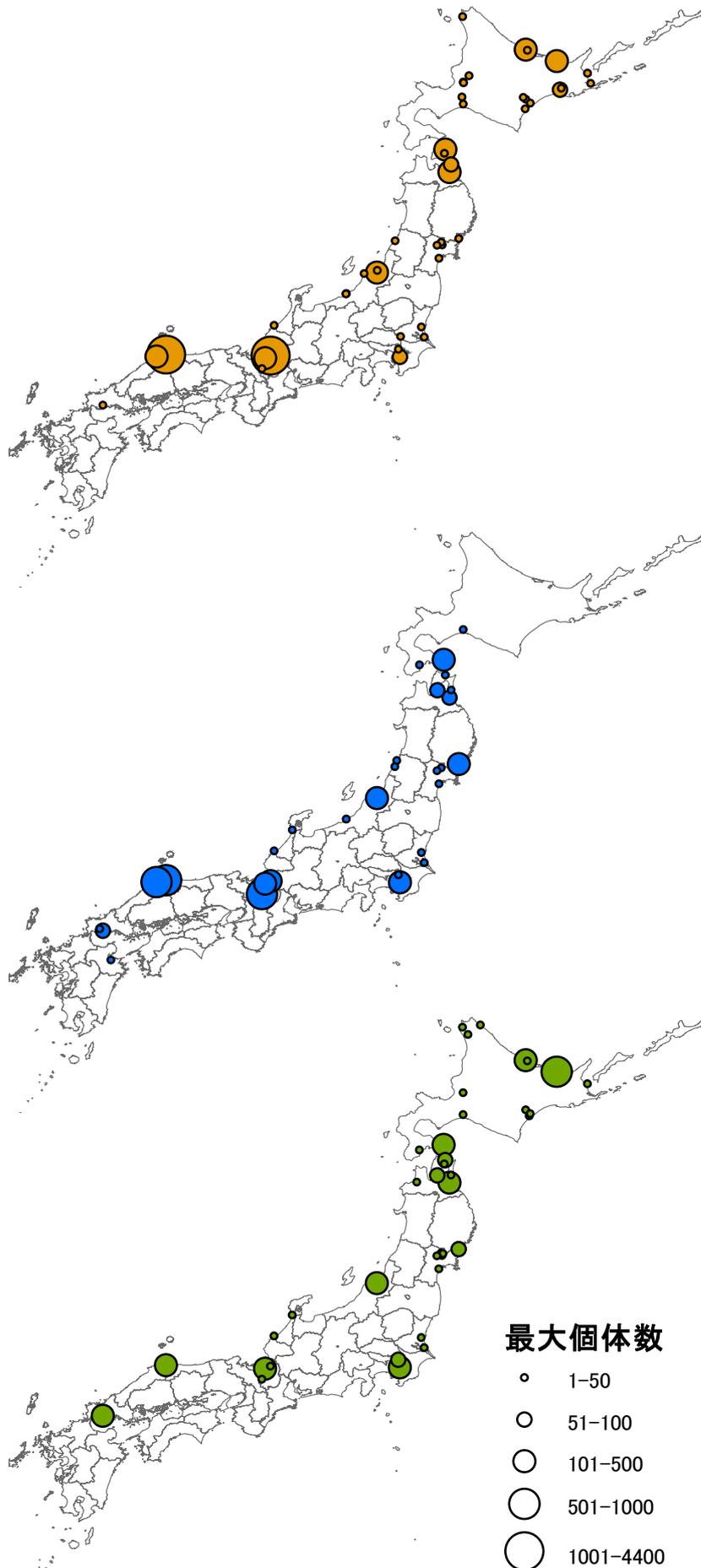


図 5-18 キンクロハジロの個体数分布

スズガモ

秋期 (9~11月)

冬期 (12~1月)

春期 (2~5月)

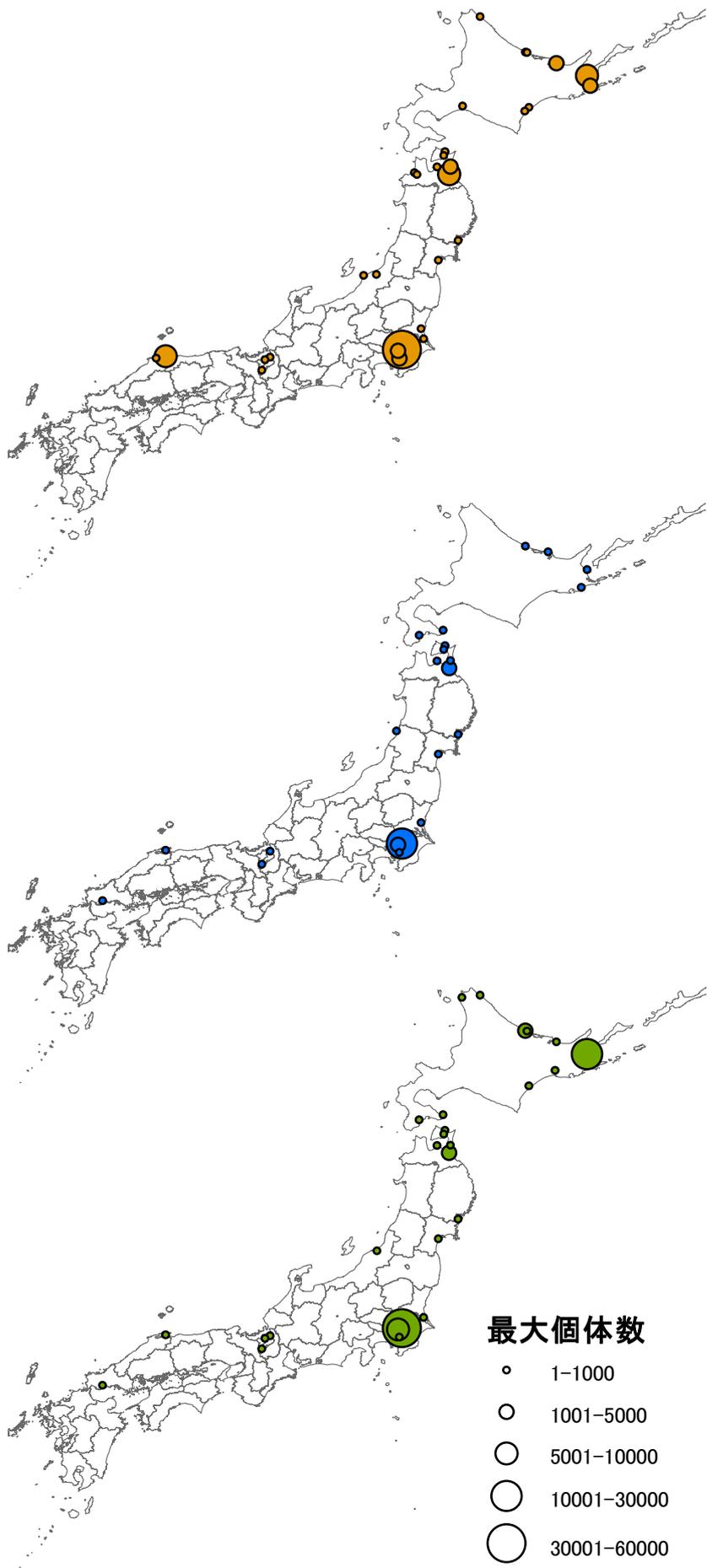


図 5-19 スズガモの個体数分布

ホオジロガモ

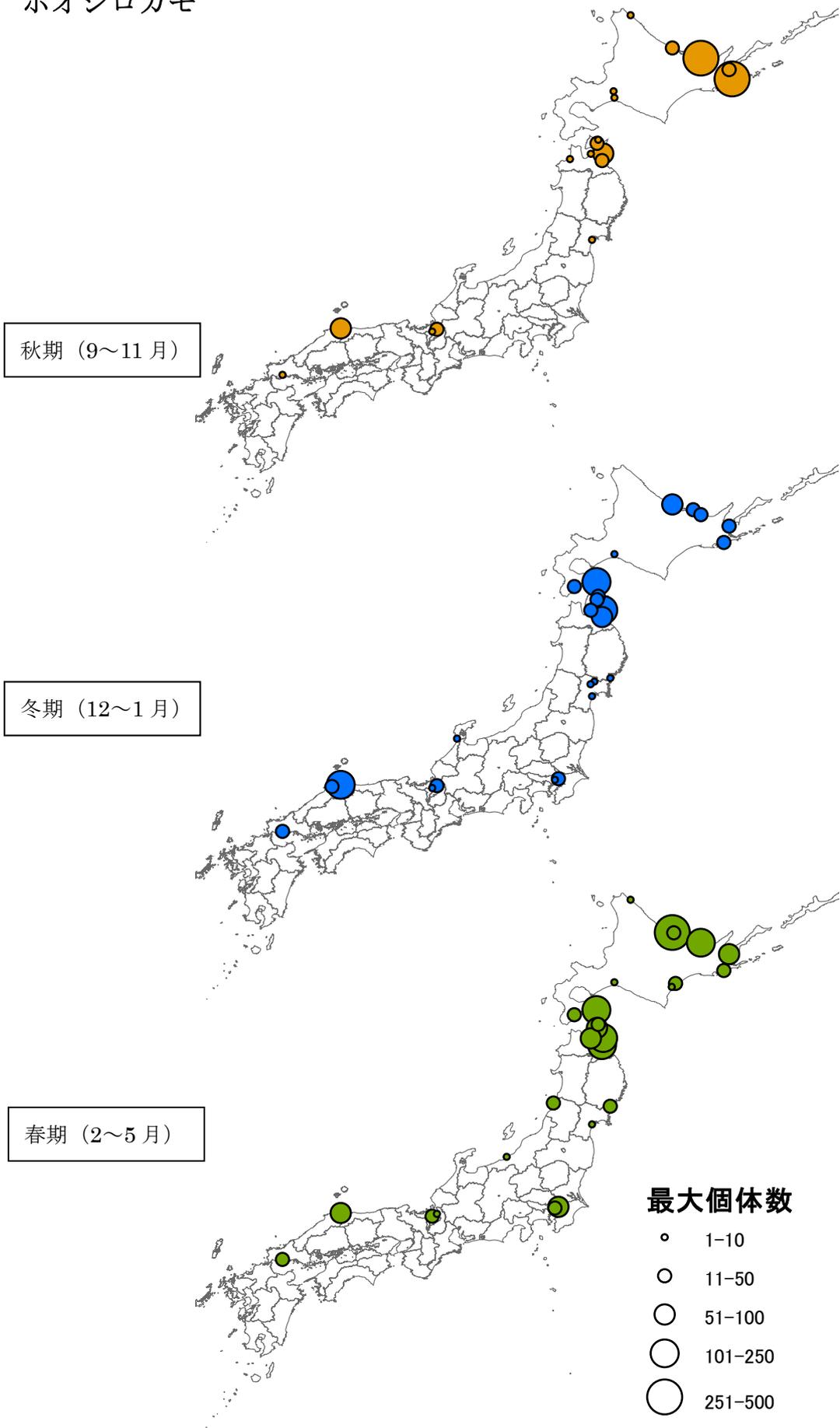


図 5-20 ホオジロガモの個体数分布

ミコアイサ

秋期 (9~11月)

冬期 (12~1月)

春期 (2~5月)

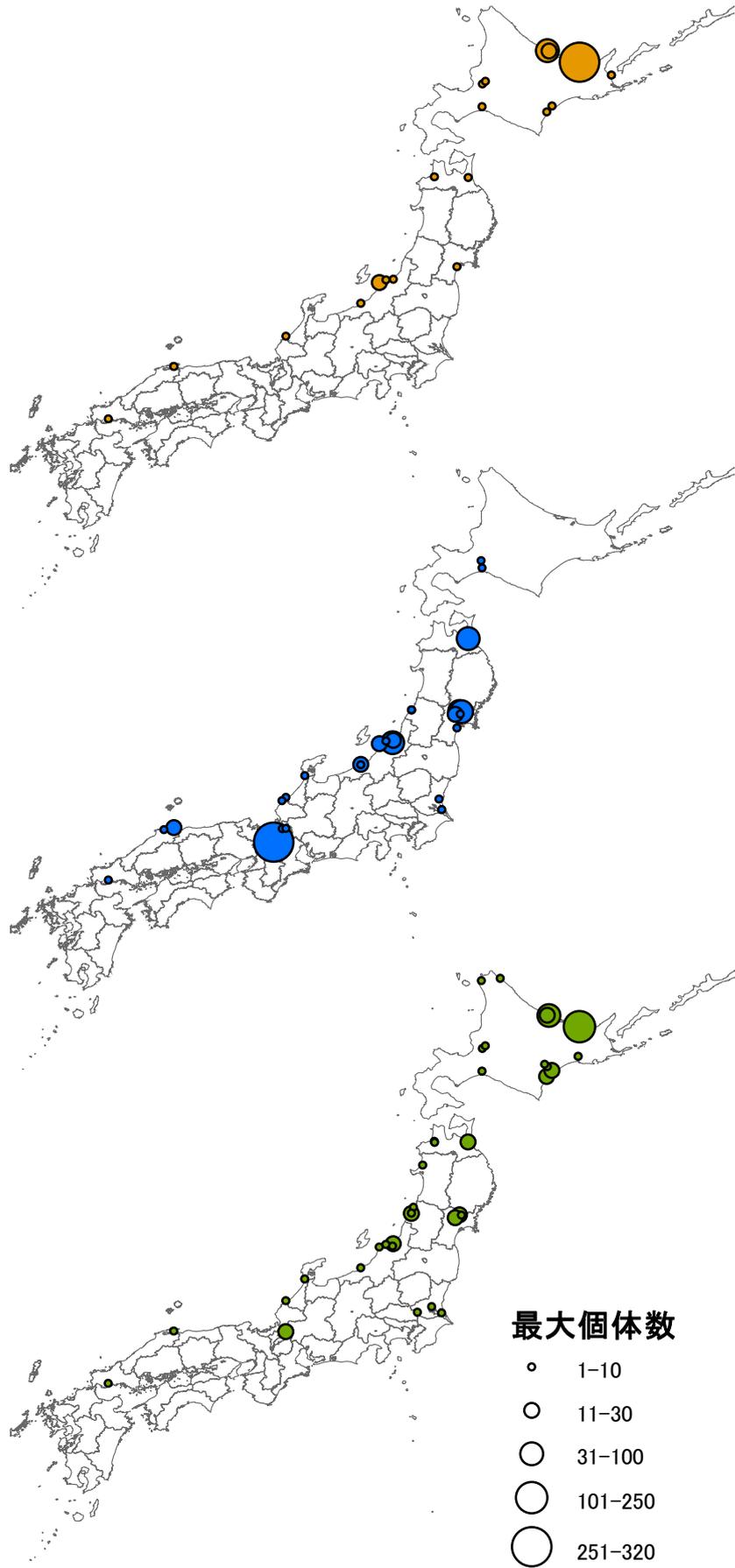


図 5-21 ミコアイサの個体数分布

ウミアイサ

秋期 (9~11月)

冬期 (12~1月)

春期 (2~5月)

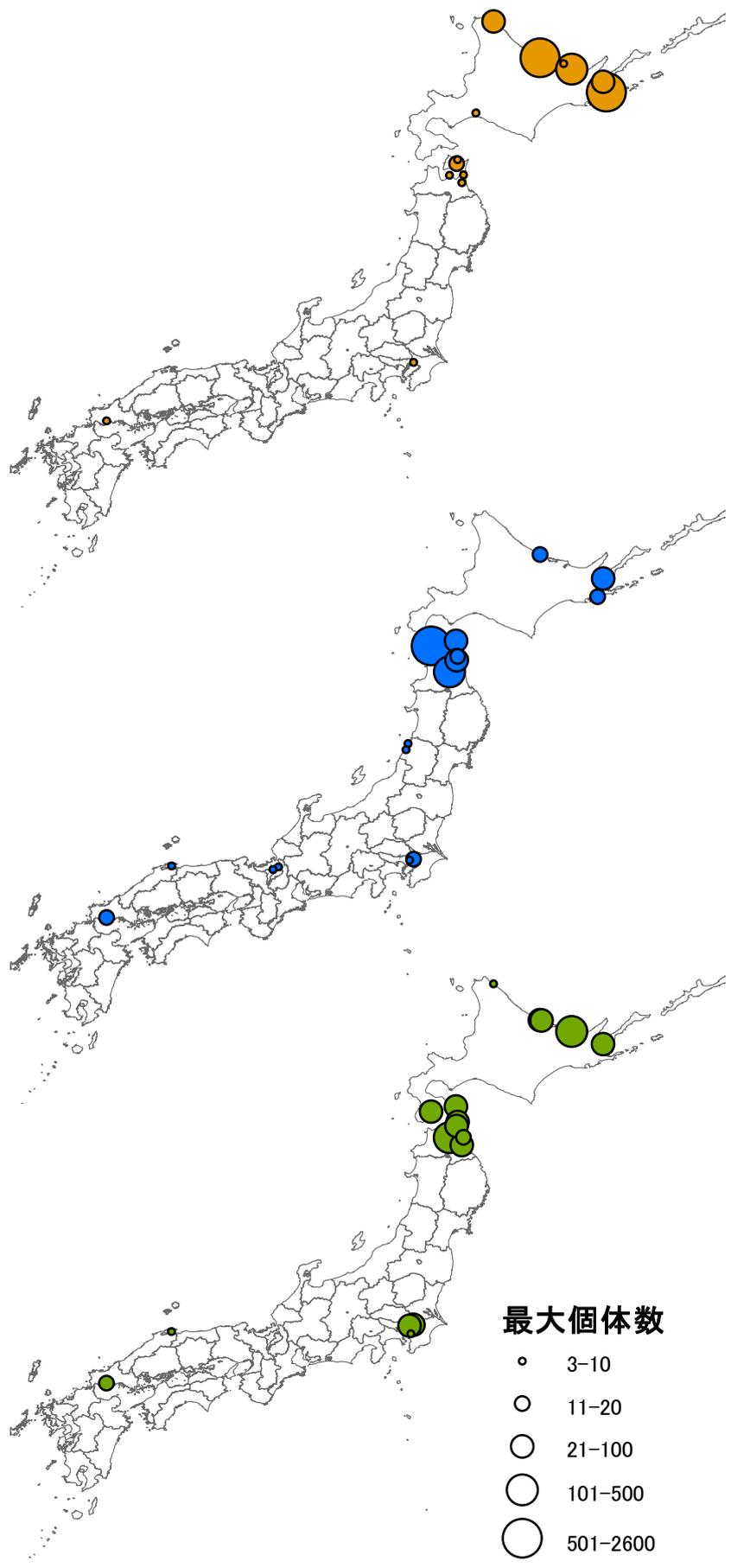


図 5-22 ウミアイサの個体数分布

カワアイサ

秋期 (9~11月)

冬期 (12~1月)

春期 (2~5月)

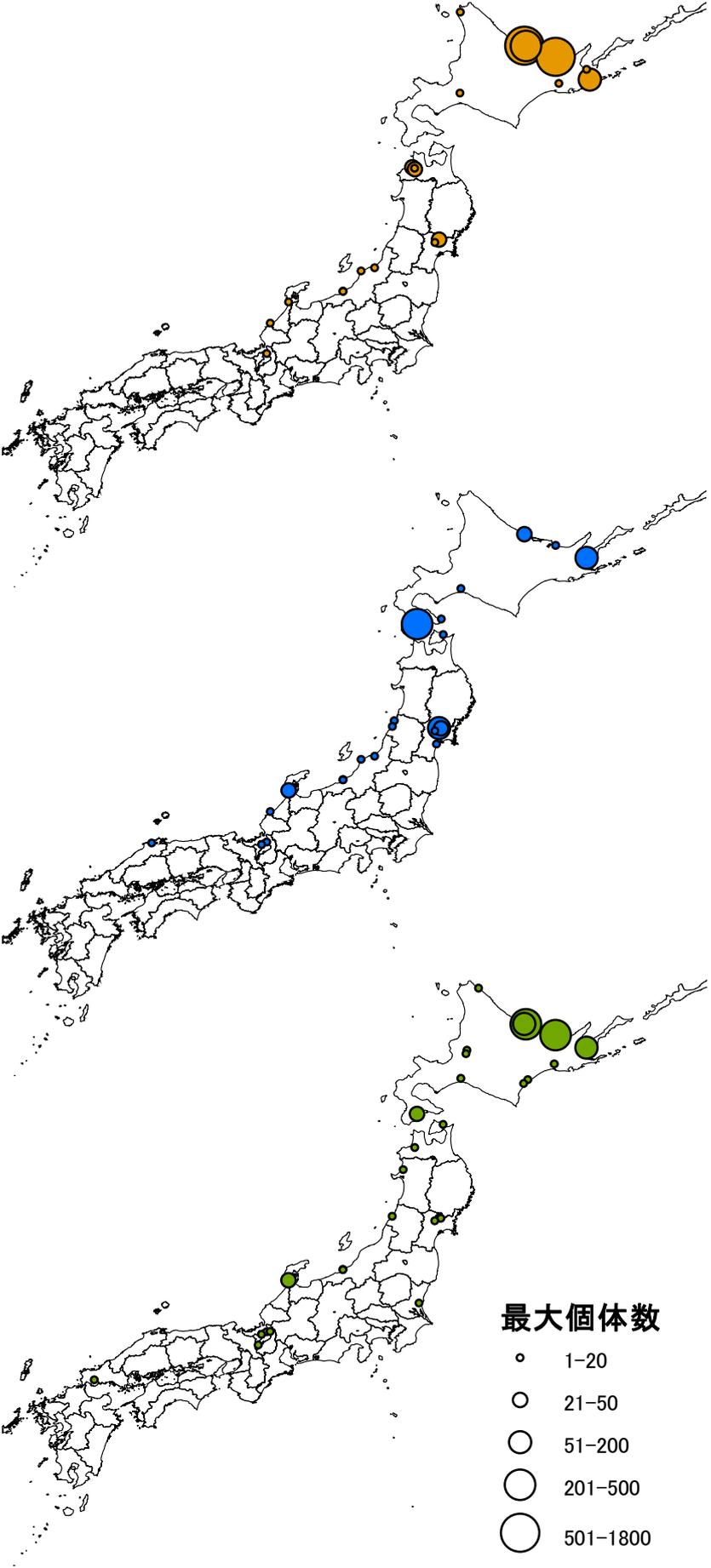


図 5-23 カワアイサの個体数分布

ハジロカイツブリ

秋期 (9~11月)

冬期 (12~1月)

春期 (2~5月)

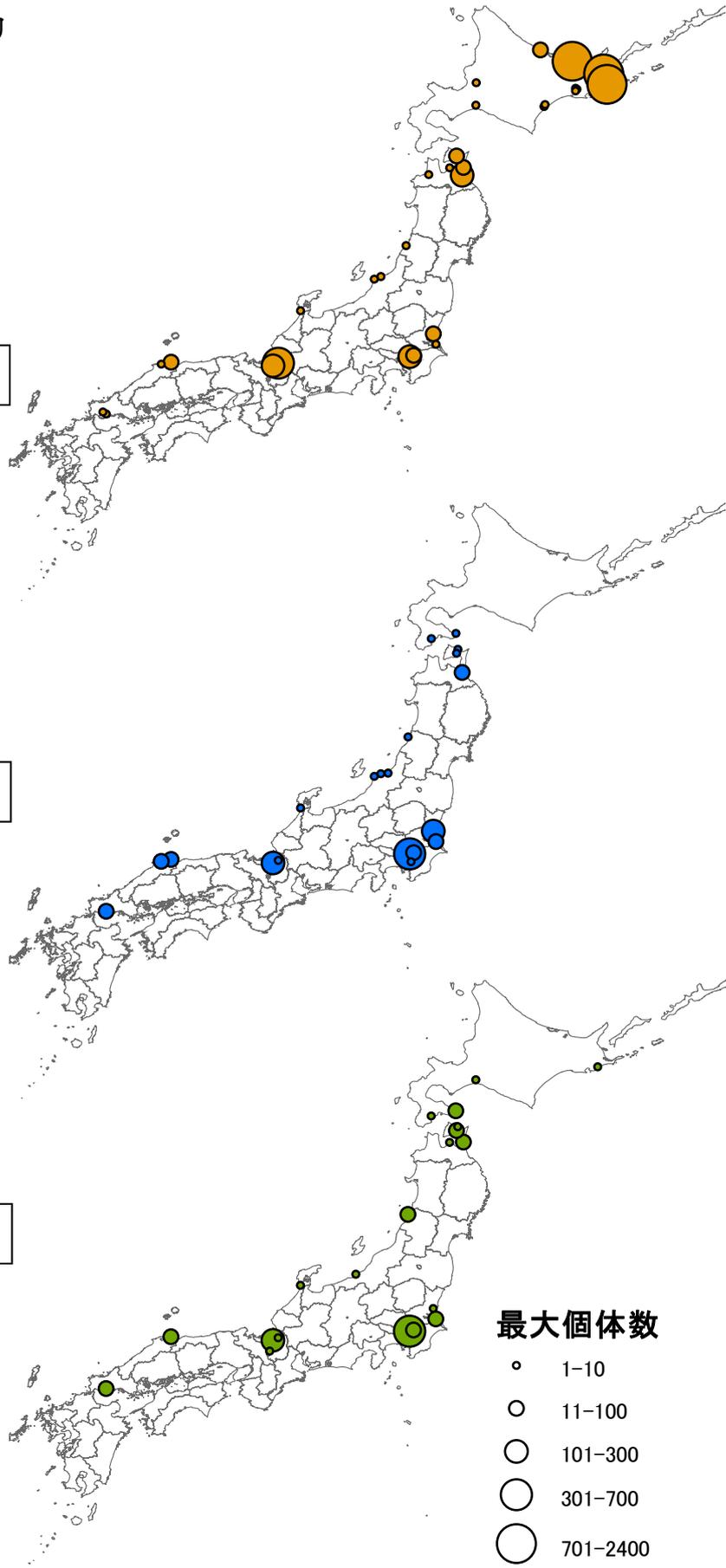


図 5-24 ハジロカイツブリの個体数分布

カンムリカイツブリ

秋期 (9~11月)

冬期 (12~1月)

春期 (2~5月)

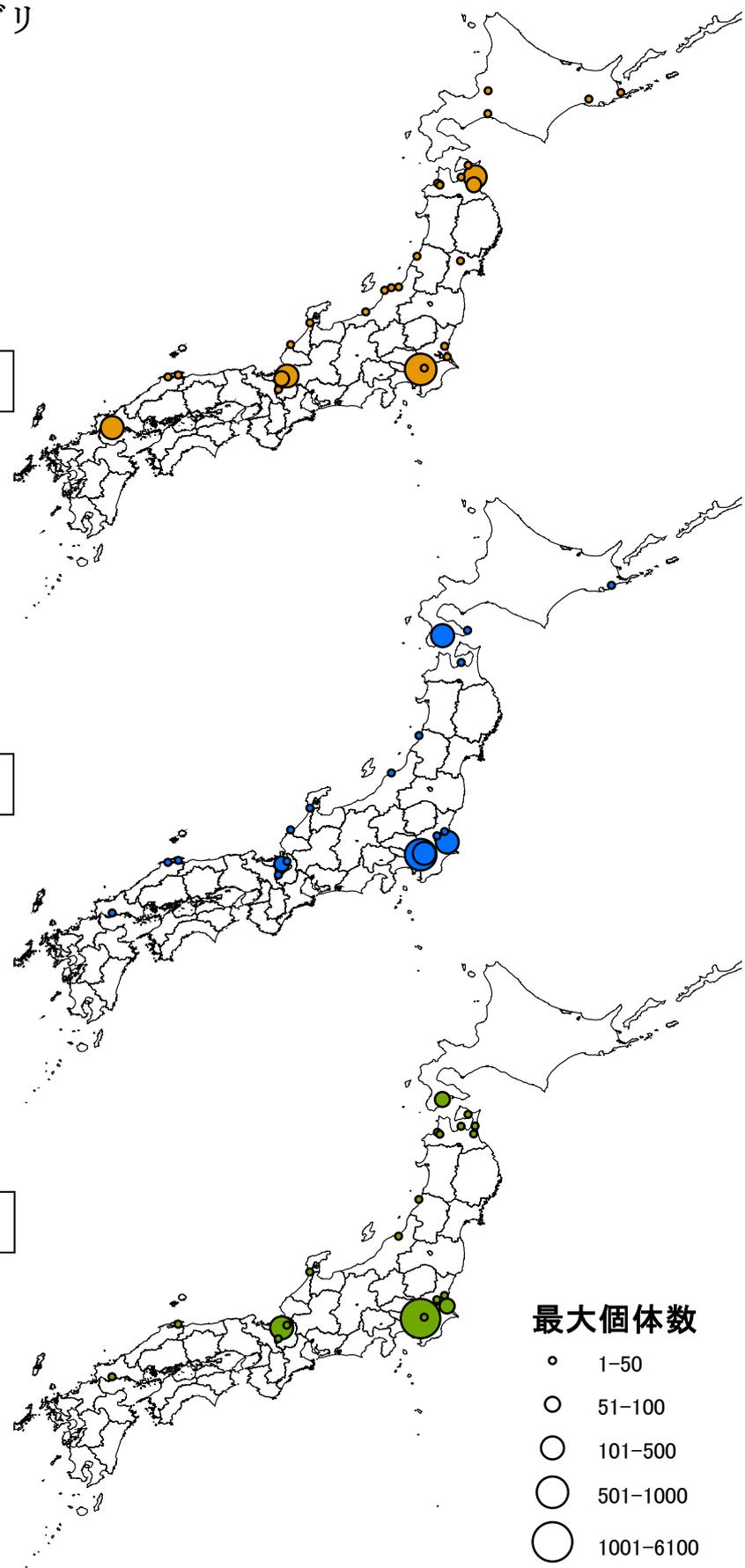


図 5-25 カンムリカイツブリの個体数分布

カイツブリ

秋期 (9~11月)

冬期 (12~1月)

春期 (2~5月)

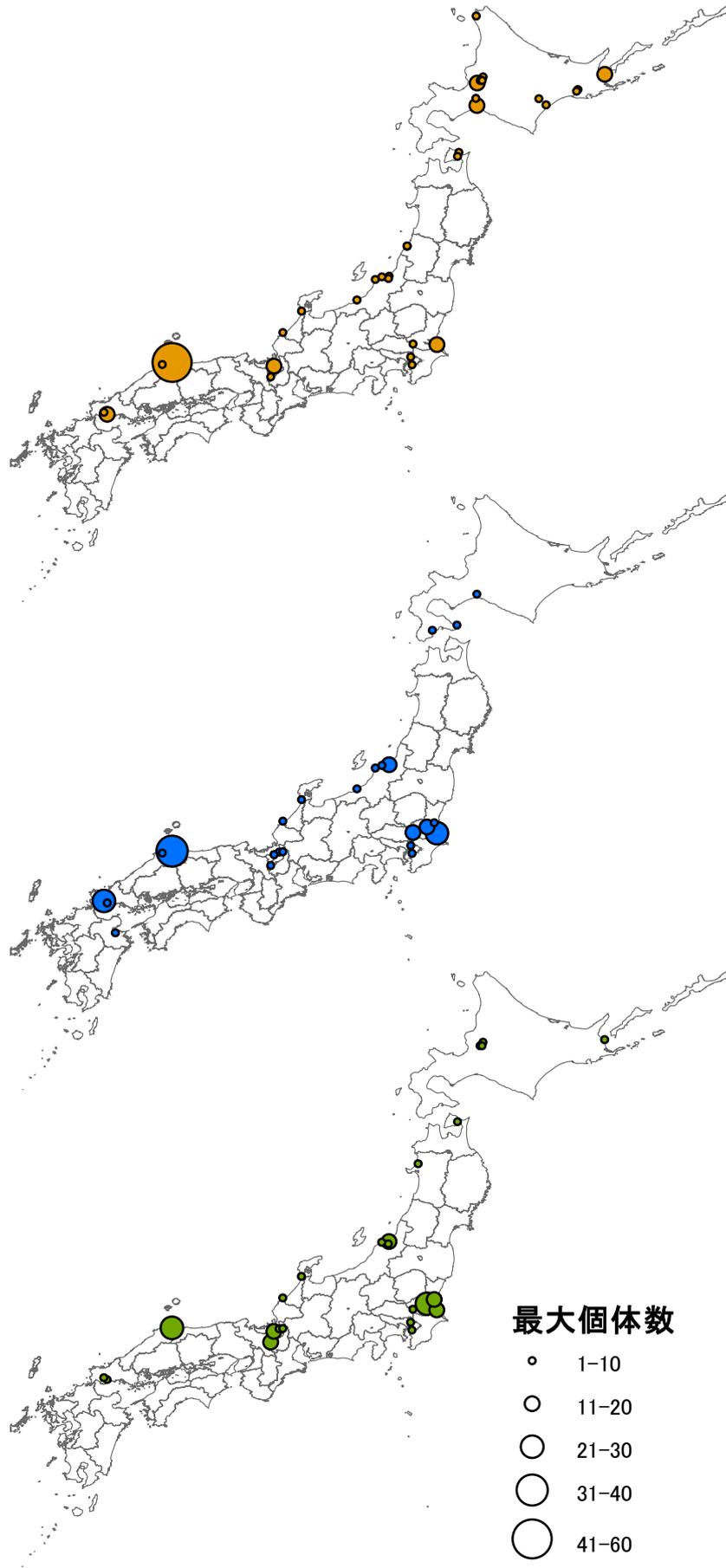


図 5-26 カイツブリの個体数分布

オオバン

秋期 (9~11月)

冬期 (12~1月)

春期 (2~5月)

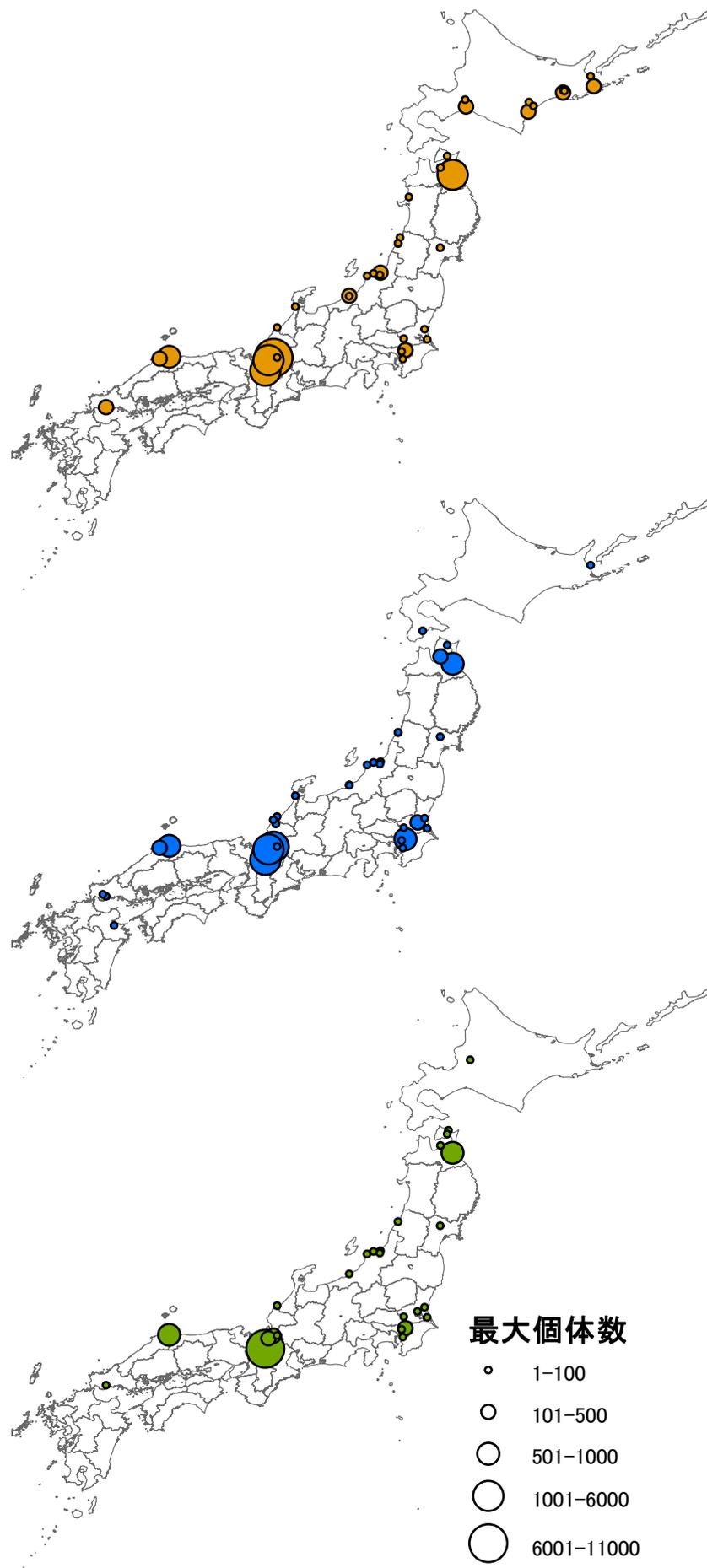


図 5-27 オオバンの個体数分布